I-O DATA

IEEE 1394インターフェイスボード

1394-PCI2シリーズ

取扱説明書

80863-01

弊社は、お客様が以下の【使用許諾条件】および【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

【使用許諾条件】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器と提供者の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
3) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
4) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
5) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
6) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
7) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
8) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません

【ご注意】

1) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
2) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。。

●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
●i.LINKならびにi.LINKのロゴは、ソニー株式会社の商標です。
●VideoStudio,Cool 3Dは、Ulead System社の商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

1394-PCI2シリーズ 取扱説明書
2000.Sep.19　80863-01
発　行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地

©2000 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにＶｅｒシールをお貼りください

Ｖｅｒシール

お読みになる前に

呼び方	意　味
1394-PCI2シリーズ	1394-PCI2/DVCおよび1394-PCI2の総称
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition
Windows 98 SE	Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition
Windows Me/98 SE	Windows MeおよびWindows 98 SEの総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional,ServerおよびAdvanced Server
Windows Me/2000	Windows MeおよびWindows 2000の総称
Windows	Windows Me、Windows 98 SEおよびWindows 2000の総称
1394	IEEE 1394-1995およびIEEE 1394a-2000の略称
i.LINK	IEEE 1394-1995仕様およびその拡張仕様の名称としてSONYが提唱している呼称

もくじ

お読みになる前に…… i
もくじ…… ii

はじめに　使う前の確認

本ボードを使えば …… 1
本ボードおよび接続機器が使えるまでの流れ …… 2
箱の中には …… 4
動作環境… …… 6
ユーザー登録しよう …… 13
各部の名前・機能… …… 14
特徴… …… 15

準備する　使う前の準備 ……17

ステップ1　ボードを取り付ける …… 20
(Windows Me/98 SE、Windows 2000共通)
・Low Profile PCI搭載パソコンに取り付ける場合… 20
・ボードをパソコンに取り付ける …… 21

ステップ2　ドライバソフトをインストールする…. 27
(Windows 98 SEのみ)

ステップ3　Windows 98 SE自体をアップデートする… 34
(Windows 98 SEのみ)

ステップ4　本ボードがパソコンに認識されているかを確認する…. 38
(Windows Me/98 SE、Windows 2000)
・Windows Me/98 SEの場合 …… 38
・Windows 2000の場合 …… 41

ステップ5　『VideoStudio』をインストールする… 44
(1394-PCI2/DVCのみ)

ステップ6　『COOL 3D』をインストールする…… 45
(1394-PCI2/DVCのみ)

活用する① ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47

DV機器を接続する場合

ステップ1　基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48

ステップ2　内蔵ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸのDMA設定を確認する・・・・ 49
(Windows Me/98 SEのみ)

ステップ3　DV機器を接続する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52

ステップ4　DV機器が正しく接続されているかを確認する・・ 55
- Windows Me/98 SEの場合 ・・・・・・・・・・・ 55
- Windows 2000の場合・・・・・・・・・・・・・・・ 56

ステップ5　DV機器をWindows上から操作する・・・・・・・ 59

ステップ6　DV機器を取り外す場合 ・・・・・・・・・・・・・・ 60

活用する② ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・61

ストレージ機器 [ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸやMOﾄﾞﾗｲﾌﾞ等] を接続する場合

ステップ1　基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62

ステップ2　ストレージ機器を接続する ・・・・・・・・・・・ 63

ステップ3　ストレージ機器が正しく接続されているかを確認する・・・・ 65
- Windows Me/98 SEの場合 ・・・・・・・・・・・ 65
- Windows 2000の場合・・・・・・・・・・・・・・・ 69

ステップ4　ストレージ機器の正しい取り外し手順・・ 71

付録 ……75

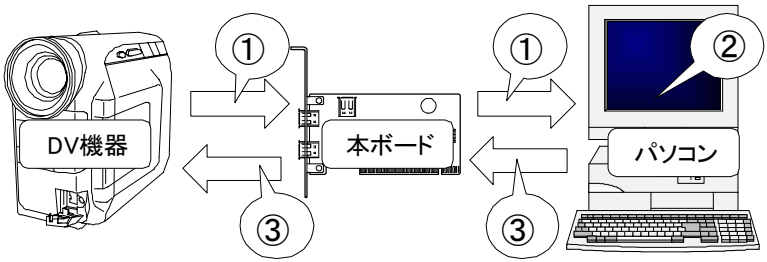
・正常に動作しない場合 …… 76
・本ボードに2台以上の機器を接続する場合 … 83
・用語解説 …… 87
・仕様 …… 88

サポートセンターへのお問い合わせ …… 89
サポートソフトのバージョンアップについて …… 90
サービス品に関するお問い合わせ …… 91
（1394-PCI2/DVCのみ）
保証について …… 92
修理について …… 93

本ボードを使えば

● DVビデオやDVデッキをつないで、あなたもミニ編集者に…

DVテープからの映像をパソコンに取り込んで、編集およびDVテープへの録画をパソコン上でできます。



① DV機器からパソコンに映像データを読み込む（キャプチャ）
② 読み込んだデータをUlead VideoStudio※で編集する
※ Ulead VideoStudioは1394-PCI2/DVCにのみ添付。
③ 編集したデータをDV機器に書き込む（録画）

● IEEE 1394対応のストレージ機器（ハードディスクやMOドライブなど）も接続できる

Plug&PlayやHot Plugに対応しておりますので、Windows起動状態でもストレージ機器を接続したり、取り外したりできます。
最大63台の機器を接続できます。（デイジーチェーン型接続のみの場合には、最大16台まで。）
機器には、電源ケーブルやACアダプタにより自ら電源供給を行うもの（セルフパワー）と接続ケーブルから電源供給を受けるもの（バスパワー）の２種類のタイプが存在しますが、本ボードは、その両方に対応しております。

本ボードおよび接続機器が使えるまでの流れ

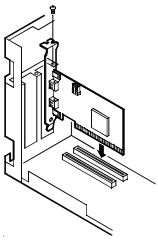
必ず行ってください

はじめに

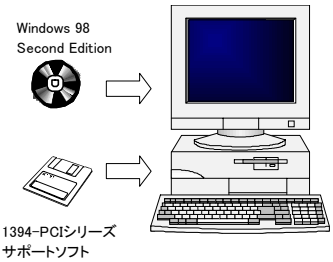
箱の中身を確認します。……P4
対応しているパソコンや
　ＯＳを確認します。……P6
ユーザー登録を行います。……P13
各部の名称や機能を確認します。　P14

準備する

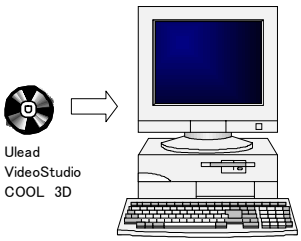
本ボードをパソコンに取り付けて、
ボードに、付属の電源変換ケーブルを
接続します。……P20



Windows 98 SEをお使いの場合は、
以下の①および②を行います。
　①「Windows 98 SE」CD-ROMから
　　ドライバソフトをインストール
　　します。……P27
　②添付の「1394-PCIシリーズサポー
　　トソフト」ディスクで、
　　Windows 98 SE自体を更にアップ
　　デートします。……P34



1394-PCI2/DVCの場合は、添付の
「VideoStudio」(CD-ROM)や
「COOL 3D」(CD-ROM)もインストール
します。……P44, P45



使ってみよう

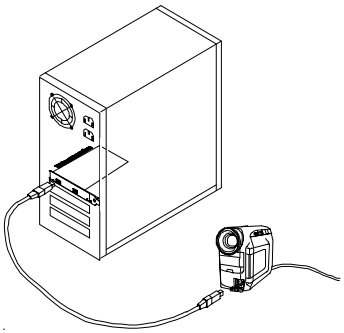
活用する①
（DV機器編）

基本操作を確認します。……P48

DV機器を接続します。……P52

DV機器が正しく接続されて
いるかを確認します。…P55

DV機器をWindows上から
操作します。……P59

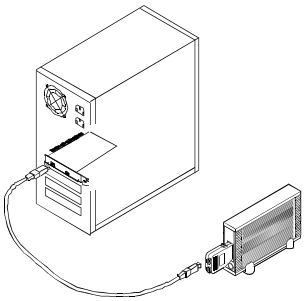


活用する②
（ハードディスク,MOドライブなどのストレージ機器編）

基本操作を確認します。……P62

1394対応のハードディスク、MOドライブなどのストレージ機器を接続します。……P63

ストレージ機器が正しく接続されて
いるかを確認します。…P65



箱の中には

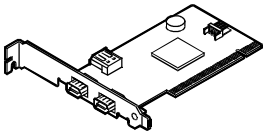
箱の中には以下のものが入っています。

☐にチェックをつけながら、ご確認ください。

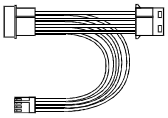
万一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

お願い：箱や梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

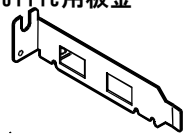
☐ IEEE 1394インターフェイスボード



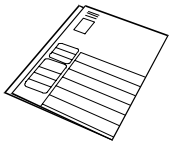
☐ 電源変換ケーブル



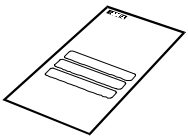
☐ Low Profile用板金



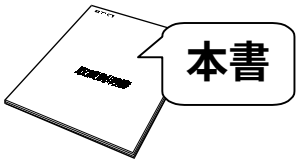
☐ ユーザー登録カード



☐ Verシール



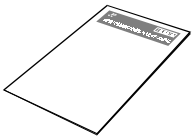
☑ 1394-PCI2シリーズ取扱説明書



☐ 「1394-PCIシリーズ
サポートソフト」

☐ ハードウェア保証書

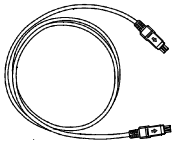
☐ 『安全で快適にお使いいただくために』



☐ ハードウェアシリアルNo. シール

●以下は1394-PCI2/DVCのみの添付品です。

☐ DVケーブル
［6ピン⇔4ピン（1.5m）］



＜サービス品＞

以下はすべてサービス品に付き、弊社ではサポート致しかねます。
製品の内容に関してはユーリード社にお問い合わせください。

☐ CD-ROM（2枚）
［日本語版Ulead VideoStudio4 DV SE］
［日本語版Ulead COOL 3D SE］

☐ Ulead VideoStuio取扱説明書(2冊)

☐ Ulead Systems お客様保管用カード（1枚）
（お問い合わせ先を記載しています。）

☐ Uleadシリアルno. シール（1枚）

サービス品に関するお問い合わせ

添付のサービス品『VideoStudio』および『COOL 3D SE』に関しては、
ユーリードシステムズ株式会社まで

●お問い合わせ先
ユーリードシステムズ株式会社ユーザーサポート係

電話番号	**03-5491-5662**
FAX番号	**03-5491-5663**
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	**http://www.ulead.co.jp**
E-mail	**support@ulead.co.jp**

受付時間　　平日 10:00〜12:00　13:00〜17:00

動作環境

対応機種及び対応ＯＳ

機種	ＯＳ（日本語版のみ）
PCI 2.1以上搭載の下記の機種 （Low Profile PCI搭載機種でもご利用になれます。） ・PC98-NXシリーズ ・DOS/Vマシン **注）標準で1394インタフェースを搭載している機種では使用できません。また、他の1394インタフェースボードとの併用もできません。** **注）NEC PC-9821シリーズでは、ご使用いただけません。**	Windows Me Windows 98 SE Windows 2000

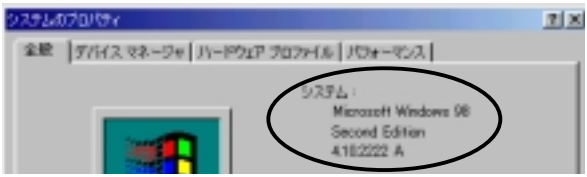
注意

1)本ボードは、Windows Me,Windows 98 SEおよびWindows 2000に対応しています。
※Windows 98をお使いの場合は、Windows 98 SEへのアップグレードが必要です。(Windows 98 SEの確認方法は以下参照)
Windows 98を含む他のOSから、Windows Me,Windows 98 SEおよびWindows 2000への変更方法や制限事項については、パソコン本体メーカーならびにOSメーカー各社へお問い合わせください。
2)パソコン本体の性能によっては、接続したDV機器からの映像のキャプチャやDV機器への書き戻しの際、コマ落ちや音飛びが発生する場合があります。

＜Windows 98 SEの確認方法＞

①『マイコンピュータ』を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

②［全般］タブで「システム」欄に**“Microsoft Windows 98 Second Edition”**と表示されていれば、Windows 98 SEです。



本製品は、割り込み(IRQ)を使用します

本ボードは、Windows MeやWindows 98 SEまたはWindows 2000が動作する環境であればIEEE 1394インターフェイスボードとして使用できます。

ただし、本ボードは割り込み(IRQ)を１つ使用しますので、本ボードを取り付ける前にパソコンに割り込みの空きが無いと使用できません。
以下の手順で割り込みの空きがあるかを確認してください。

＜Windows Me/98 SEでの割り込みの空きの確認方法＞

①［マイコンピュータ］を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。

②［デバイスマネージャ］タブで［コンピュータ］が選択された状態で［プロパティ］ボタンをクリックします。
［コンピュータのプロパティ］画面が表示されます。

③［リソースの表示］タブでの［割り込み要求(IRQ)］で「0」～「15」のIRQのうち、使用されていない（空いている）番号があれば、割り込みが空いていることになります。

（例）以下の画面では、5と9の割り込み(IRQ)が
使用されていない（空いている）ことが分かります。

注意

「0」～「15」の割り込み（IRQ）の全ての番号が使用されている場合、割り込みの空きがない状態です。
使用していない機器等があれば取り外したり、または無効にし、割り込みの空きを作ってください。（詳細はパソコンメーカーにご確認ください。）

＜Windows 2000での割り込みの空きの確認方法＞

①［マイコンピュータ］を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。

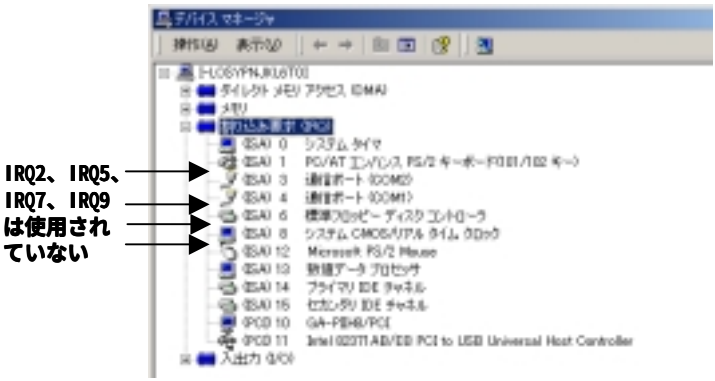
②［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

③［デバイスマネージャ］画面の［表示］メニュー内の［リソース（種類別）］をクリックします。

④［割り込み要求（IRQ）］をダブルクリックします。

⑤「割り込み要求(IRQ)」で「0」～「15」のIRQのうち、使用されていない（空いている）番号があれば、割り込みが空いていることになります。

（例）以下の画面では、2、5、7、9の割り込み(IRQ)が
使用されていない(空いている)ことが分かります。



注意

「0」～「15」の割り込み（IRQ）の全ての番号が使用されている場合、割り込みの空きがない状態です。
使用していない機器等があれば取り外したり、または無効にし、割り込みの空きを作ってください。（詳細はパソコンメーカーにご確認ください。）

ＤＶ機器を使用する場合に必要な環境

DV機器を使用する場合に、1394-PCI2/DVC添付のアプリケーションソフト（Ulead VideoStudio）を動作させるには、Windows MeやWindows 98 SEまたはWindows 2000が動作する以外に、さらに、以下の環境が必要です。

CPU	MMX Pentium166MHz以上 （PentiumⅡ 266MHz以上推奨）
メモリ	32Mバイト以上（64Mバイト以上推奨）
ハードディスク	・150Mバイト以上の空き容量 ※『Ulead VideoStudio』および『Ulead COOL 3D』のインストール領域です。上記以外に静止画および動画ファイル保存用として空き領域が必要です。 例）1分間の動画キャプチャには約220Mバイトの空き容量が必要です。 2Gバイトの空き容量がある場合は、約9分30秒の動画キャプチャを行うことができます。 ・ UltraWide/Ultra2Wide SCSI以上推奨 （低速なハードディスクではコマ落ちが発生しやすくなります。） 例）弊社製SCSIインターフェイス SC-UWPCI/SC-U2PCI/SC-UPU2など 弊社製ハードディスク UWHD-Nシリーズ/HDIS-UWシリーズ/ U2HDシリーズ/HDIS-U2シリーズなど
グラフィックアクセラレータ機能	解像度800×600×16bitハイカラー以上
サウンド環境	音声入出力用サウンドボード
CD-ROMドライブ	アプリケーションのインストール用

注意

1)CPU速度、ハードディスクの転送速度、グラフィックボード、その他使用状況により動画キャプチャ書き戻し時にコマ落ち・音飛びが発生する場合があります。
2)DVHS、CSチューナーなどには対応しておりません。

注意　SiS530チップセット搭載パソコンをお使いのお客様へ

SiS530グラフィックチップセットは32bitカラーでのオーバーレイに対応していません。（以下の表参照）

このような環境で本ボードをご使用の際は、16bitカラーモードでご使用ください。

《SiS530搭載機種一覧》

メーカー	機種名
NEC	Mate NX R　MA35L/RZ　MA35L/R5　MA35L/R7　MA35L/RH
	VALUESTAR NX R　VR35L/75C,D　VR35L/85D　VR400M/7ZC,7ZD VR400M/77C,77D　VR400M/85D　VR400M/87D
富士通	FMV-DESKPOWER　ME355　ME35B FMV5350ML3
IBM	Aptiva　10J（2165-0J4,0J5）　11J（2165-1J4,1J5） 12J（2165-2J4）　15J（2165-5J4,5J7,5JT） 16J（2165-6J4,6J7,6JT）

動作確認済みのＤＶ機器一覧

注意

1)対応機種は随時更新いたします。最新情報は弊社ホームページ（http://www.iodata.co.jp/）をご覧ください。
2)以下の表は、Windows 98 SEおよびWindows 2000における確認結果です。
3)パソコン本体の性能によっては、映像のコマ落ちや音飛びが発生する場合があります。

（2000年9月現在）

メーカー	DV機種名
Canon	DM-CV11, DM-FV1,DM-FV2,DM-FV10, DM-MV1,DM-XV1,DM-PV1
Panasonic	NV-C3,NV-C5, NV-DE3,NV-DJ100,NV-DM1, NV-DS5,NV-DS7,NV-DS9,NV-DS80K,NV-DS200, NV-DV10000
SHARP	VL-DC5,VL-FD1, VL-PD3,VL-PD7
SONY	DCR-TRV5,DCR-TRV7,DCR-TRV9,DCR-TRV10,DCR-TRV20, DCR-TRV220K,DCR-TRV620K,DCR-TRV900, DCR-PC1,DCR-PC3,DCR-PC7,DCR-PC100, DCR-TRV310K,DCR-TRV110K, DCR-VX1000,DCR-VX2000, DV-D900,DVMC-DA2, WV-D700,WV-D9000,WV-D10000,WV-DR5
Victor	GR-DVA1,GR-DVA10,GR-DVL※1,GR-DVL7,GR-DVL700, GR-DVX7,GR-DVX9,GR-DVY, HR-DVS1

※1　カメラの仕様により出力のみの対応です。書き戻しには対応しておりません。

動作確認済みのストレージ機器一覧

注意

対応機種は随時更新いたします。最新情報は弊社ホームページ（http://www.iodata.co.jp/）をご覧ください。

（2000年9月現在）

メーカー	ストレージ機種名	
I-O DATA	ハードディスク	HDA-i40G/1394,HDA-i30G/1394, HDA-i20G/1394
	MOドライブ	MOA-i1300/1394,MOA-i640S/1394
ピクセラ	DVD-RAMドライブ	PIX-DVRM/FW1

ユーザー登録しよう

弊社では、サポートセンターで不具合に関するお問い合わせなどを受け付けておりますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。

お買い上げいただいた製品ごとに以下の手順で必ず登録を行ってください。

1 添付の「Verシール」を所定の位置に貼ります。

添付のVerシールを、「サポートソフト」ディスクのVerシール欄、ユーザー登録カード、本書の巻末に貼ってください。

2 添付の「ハードウェアシリアルNo.シール」を貼ります。

ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼ってください。

保証書は大切に保管してください。詳細は、【保証について】(P92)を参照してください。

3 登録を行います。

・オンラインで登録する場合（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/）

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。

I-O DATA ホームページに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入して、ユーザー登録を行ってください。

オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

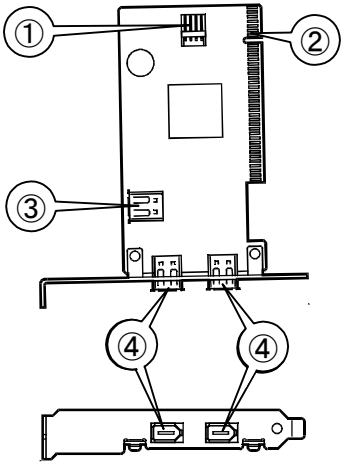
・ハガキで登録する場合

必要事項をご記入の上、弊社まで必ずご返送ください。

注意

ユーザー登録の際、必要事項の入力もれ（ユーザー登録カードの場合は、必要事項の記入漏れやシールの貼り忘れ等）があった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

各部の名前・機能



No	名前	機能
①	内部電源入力 端子	添付の電源変換ケーブルにより、パソコン本体の電源と接続し、1394機器に電源供給を行います。 **注）本ボードはパソコン本体から電源を取り、1394機器に対し電源供給を行うよう設計されています。そのため、パソコン本体側の電源供給能力によっては仕様を満足できない場合があります。**
②	PCIバス部	パソコン本体と接続し、1394ポートとパソコンとのデータの受け渡しを行います。
③	1394ポート （内蔵機器接続用 ：6ピンタイプ）	1394対応の内蔵機器を接続するポートです。 ケーブルは内蔵機器に付属のものをお使いください。
④	1394ポート （外付機器接続用 ：6ピンタイプ）	1394対応の外付機器を接続するポートです。 どちらに接続しても構いません。 **・4ピンタイプの1394機器（主にDV機器）と接続する場合** 1394-PCI2/DVCの場合、添付のDVケーブル（6ピン⇔4ピン）で接続します。 1394-PCI2の場合、機器に付属、あるいは市販の1394ケーブル（6ピン⇔4ピン）で接続します。 **・6ピンタイプの1394機器（主にストレージ機器）と接続する場合** 機器に付属、あるいは市販の1394ケーブル（6ピン⇔6ピン）で接続します。

特　徴

◎デジタル品質の映像・データをパソコンと接続機器間でダイレクト転送

OHCI※準拠IEEE 1394インターフェイスです。
DV(i.LINK)端子搭載のDV機器とパソコンとの双方向のデジタルデータ転送が可能です。

※ Open Host Controller Interfaceの略。

◎６ピンタイプのポートを３ポート用意

外付1394機器用に２ポート、内蔵1394機器用に１ポート用意しています。

◎接続機器への電源供給も可能

1394対応の接続機器には、自ら電源を供給するもの（セルフパワー）と、1394ケーブルから電源供給を受けるもの（バスパワー）の２種類があります。本ボードは、その両方のタイプに対応しております※。

※ 本ボードはパソコン本体から電源を取り、1394機器に対し電源供給を行なうよう設計されております。そのため、パソコン本体側の電源供給能力によっては仕様を満足できない場合があります。

◎1394対応のハードディスクやMOドライブなどのストレージ機器に対応

1394対応のハードディスクやMOドライブ等のストレージ機器の接続も可能です。(P12参照)
具体的には、実際の機器による接続テストを随時行ない、保証対象機器のリストを作成し、ホームページなどで公開します。

◎ Plug&PlayやHot Plugに対応し、最大63台の1394機器を接続可能

接続時の Plug&PlayやHot Plugの対応。
増設時のディジーチェーンやスター型接続の対応など、最大63台の機器を接続可能です。（デイジーチェーン接続のみの場合には、最大16台まで。詳細はP83を参照してください。）
また、機器間を接続するケーブル長は最大4.5mまで可能です。
（接続機器によっては接続条件などが発生する場合があります。
詳細は、接続機器メーカーにお問い合わせください。）

◎「Low Profile PCI」を搭載した省スペース型パソコンにも対応

Low Profile PCIとは……
取付金具の高さが従来より約４cm低くなった新しいPCIボードの規格で、省スペース型パソコンの拡張性の向上などを目的に採用されています。
サイズは小さくなりましたが、電圧やバス幅などの基本的性能は全く変わりません。

◎日本語版Ulead VideoStudio4 DV SEを添付（1394-PCI2/DVCのみ）

Ulead VideoStudioは、ホームビデオの編集に最適なアプリケーションソフトです。
ハードディスクへの映像の取り込み(キャプチャ)はもちろん、編集や100種類以上の特殊効果による加工が簡単に行えます。
ビデオにタイトルや見出しを挿入したり重ねたりもできます。
マイクからの肉声や音楽CDから直接BGMを取り込み、映像とリンクすることも可能です。
編集結果をテープに記録することも可能です。

◎日本語版Ulead COOL 3D SEを添付（1394-PCI2/DVCのみ）

Ulead COOL 3DはWebページ、デジタルビデオ、マルチメディアタイトル、プレゼンテーション、レポートなどに使う3Dタイトルの作成に最適なツールです。
お好きな文字を入力し、時間の経過と文字の位置をドラッグ&ドロップで指定すれば、文字が動画として移動します。さらに、マウスによる複雑な動きや予め用意された爆発などの特殊効果を加えることにより画面の中を3Dテキストが思い通りに動き回ります。
個々のオブジェクトにはそれぞれ異なるテクスチャ、色、フォント、斜面、アニメーションパスを指定することができます。さらに、イメージをAVI、JPEG、BMP、GIFアニメーションなどに出力することもできるので、オープニングクレジットやエンディングクレジットに特殊効果を用いたフルフレーム、フルモーションのビデオを作成することができます。

注意

1)『日本語版Ulead VideoStudio4 DV SE』および『日本語版Ulead COOL 3D SE』は、1394-PCI2/DVCのみ添付しております。
1394-PCI2には添付しておりません。
2)『日本語版Ulead VideoStudio4 DV SE』および『日本語版Ulead COOL 3D SE』は、弊社ではサポートしておりません。
これらに関してはユーリード株式会社にお問い合わせください。
（お問い合わせについては、【サービス品に関するお問い合わせ】(P91)を参照してください。）

準備する

使う前の準備

ここではWindows Me,Windows 98 SEおよびWindows 2000で使用する前の準備について説明します。

ステップ1

ボードを取り付ける

(Windows Me/98 SE、Windows 2000共通)

本ボードをPCIバススロットに取り付けます。 (P20)

▼

ステップ2

ドライバソフトをインストールする

(Windows 98 SEのみ)

本ボードを使えるようにするためのドライバソフトをインストールします。 (P27)

▼

ステップ3

Windows 98 SE自体をアップデートする

(Windows 98 SEのみ)

Windows 98 SEをお使いの場合は、添付の「1394-PCIシリーズサポートソフト」でWindows 98 SE自体をさらにアップデートする必要があります。 (P34)

▼

ステップ4

本ボードがパソコンに正常に認識されているかを確認する

(Windows Me/98 SE、Windows 2000)

本ボードが正しくパソコンに認識（接続）されているかどうかを確認します。 (P38)

▼

ステップ5 (1394-PCI2/DVCのみ)

VideoStudioをインストールする

1394-PCI2/DVC添付の『日本語版Ulead VideoStudio』をインストールします。 (P44)
詳細は、別冊『Ulead VideoStudio』取扱説明書を参照してください。

▼

ステップ6 (1394-PCI2/DVCのみ)

COOL 3Dをインストールする

1394-PCI2/DVC添付の『日本語版Ulead COOL 3D』をインストールします。 (P45)
詳細は、CD-ROM内の取扱説明書データ（PDFファイル）を参照してください。

本ボードをご使用いただくにあたり、一部の機能に制限などが発生する場合があります。
また、操作方法によっては機器およびディスクの破損もしくはデータの消失、またはWindowsの正常動作の妨げとなりますので以下の注意事項を必ずお読みください。

注意

本ボードは、Windows Me,Windows 98 SEおよびWindows 2000のみ対応です。
※Windows 98をお使いの場合は、Windows 98 SEへのアップグレードが必要です。
Windows 98を含む他のOSからWindows Me,Windows 98 SEおよびWindows 2000への変更方法や制限事項については、パソコン本体メーカーならびにOSメーカー各社へお問い合わせください。

注意

1394機器に関する注意事項

1394機器の接続、取り外しおよび使用方法については、1394機器の取扱説明書を参照してください。誤った操作方法は、機器およびディスクの破損もしくはデータの消失、またはWindowsの正常動作の妨げとなりますのでご注意ください。

- ●1394機器は、電源を入れてから本ボードに接続してください。
  1394機器の電源を切った状態で本ボードに接続すると、機器が認識されないなどの現象が発生し、正常に動作しません。
- ●1394機器の動作中に、ケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。
- ●複数の1394機器を接続した場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。
  また、1394機器の動作中に他の1394機器を接続することも正常動作の妨げになる場合があります。

※1394機器が正常に動作しない場合や認識されない場合は、いったんケーブルを抜いてから1394機器の電源を入れ直し、1394機器の電源を入れた状態で再度接続してください。また、必ず各1394機器の取扱説明書もご覧ください。
※アプリケーションなどから1394機器が認識されない場合は、Windowsを再起動してお試ください。

注意

スタンバイモードの制限事項

本ボードは、パソコン（Windows）のスタンバイモードおよび休止状態には対応しておりません。
Windowsのスタンバイモードは使用しないでください。（ Windows Me/98 SEの場合はP40を、Windows 2000の場合はP43を参照して設定を無効にしてください。）
また、『スタート』ボタン→『Windowsの終了』（Windows 2000では『シャットダウン』）での「スタンバイ」は実行しないでください。
パソコン本体およびキーボード上のスタンバイ機能のスイッチ(ボタン)も使用しないでください。

ステップ 1

ボードを取り付ける

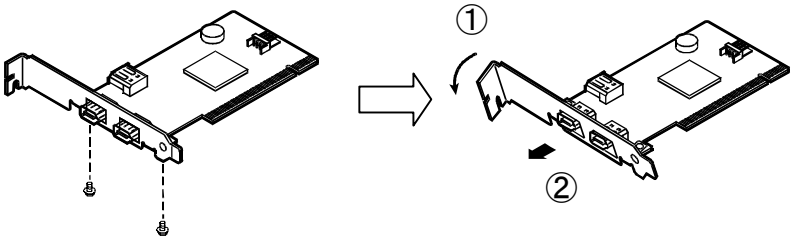
(Windows Me/98 SE、Windows 2000共通)

ここでは、本ボードをパソコンに取り付ける手順について説明します。

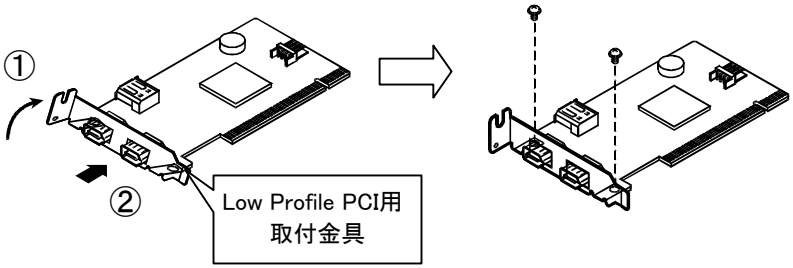
Low Profile PCI搭載パソコンに取り付ける場合

本製品をLow Profile PCI 搭載パソコンに取り付ける場合は、パソコンに取り付ける前に、本製品の金具を添付の「Low Profile PCI 用取付金具」に交換する必要があります。

1. 本ボードの取り付け金具を取り外します。
   プラスドライバを使ってネジを取り外し、一度、金具を下向きに斜めにしてから、取り外します。



2. 添付の「Low Profile PCI 用取付金具」を上向きに斜めにして金具をボードに引っ掛け、奥まで取り付けてネジ止めしてください。

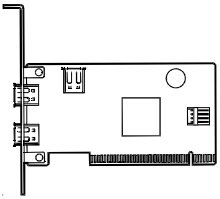


3. 取り付け後、次ページへお進みください。

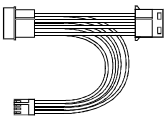
ボードをパソコンに取り付ける

用意するもの

・本ボード

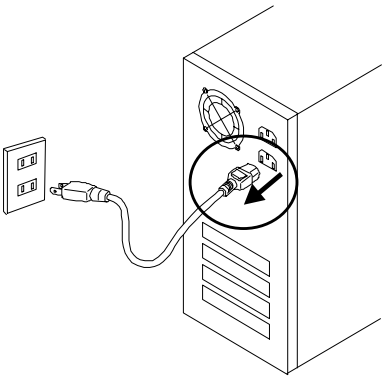


・添付の電源変換ケーブル



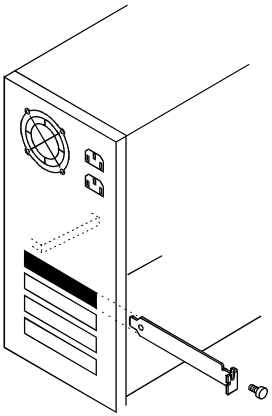
取り付け手順

1 **パソコンの電源スイッチを切り、パソコン本体の電源ケーブルを取り外します。**



2 **パソコンのカバーを取り外します。**

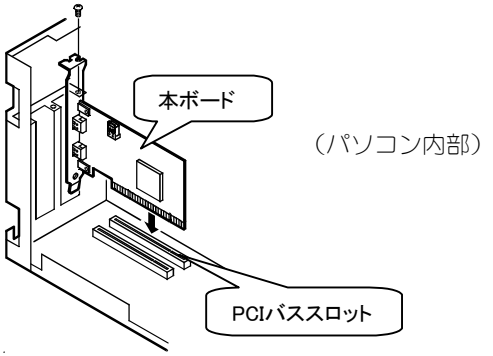
3 **空いているPCIバススロットのスロットカバーを取り外します。**



4 PCIバススロットに本ボードを取り付けます。

本ボードがPCIバススロットに確実に装着されることを確認しながら押し込みます。

差し込みが若干固い場合には、スロットに向かって上から垂直に押すような形で力を入れ、取り付けてみてください。

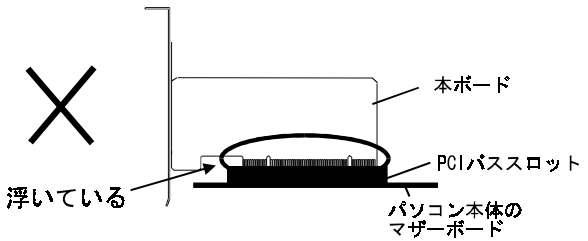


ご使用のパソコンによっては、本ボードの部品面を上に向けて差し込む場合や本ボードを垂直に差し込む場合などがあります。
詳細はパソコン本体の取扱説明書をご覧ください。

注意

ボードのメッキ部分がPCIバススロットからはみだしたり、斜めにささらないように確認してください。

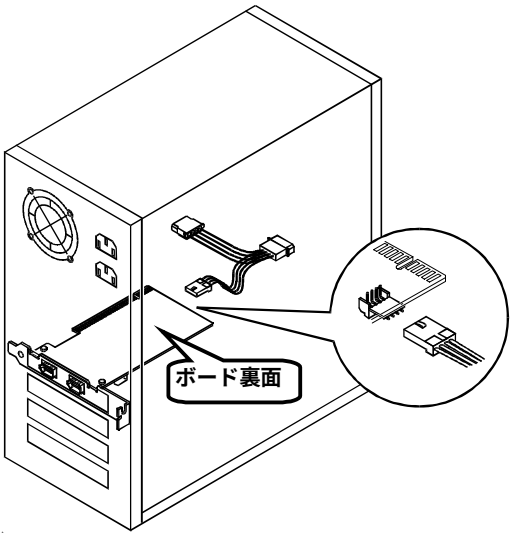
PCIバススロットの奥まで挿入されていない例

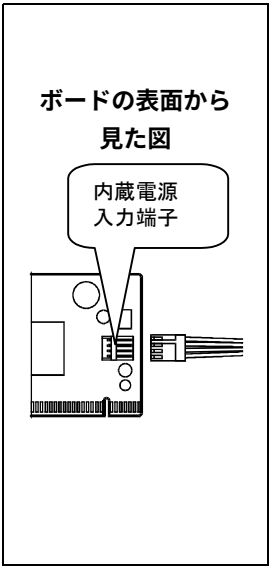


5 スロットカバー用のネジを取り付けます。

ボードがPCIバススロットに確実に固定されるように取り付けます。

6 添付の電源変換ケーブルを、本ボード上の内蔵電源入力端子に接続します。



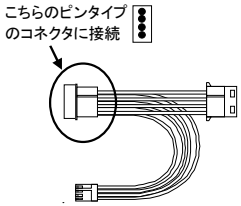


注意

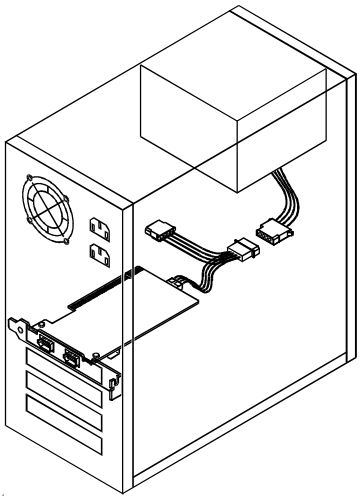
電源変換ケーブルを接続しない場合、バスパワー供給はできません。

7 電源変換ケーブルを、パソコン本体内部の空いている電源コネクタに接続します。

電源変換ケーブルのピンタイプ側のコネクタを接続します。



もう一方のコネクタは接続する必要はありません。
パソコン内部に空きの電源コネクタが無い場合（次ページの場合）にのみ使用します。



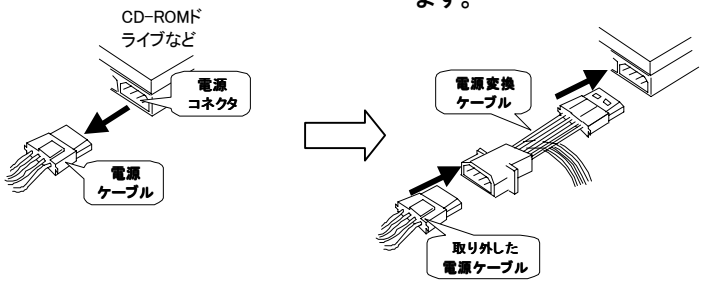
パソコン本体内部に電源ケーブルの空きが無い場合

ハードディスク以外（CD-ROMドライブなど）に接続している電源コネクタから分岐させてください。

※ハードディスクからは分岐させないでください。
電源変換ケーブルと接続可能な電源ケーブルがハードディスク以外に無い場合は、ハードディスクより分岐させてください。（その場合、本ボードには、セルフパワー機器のみを接続してください。）

①電源ケーブルを抜きます。

② 抜いた電源ケーブルを電源変換ケーブルに接続し、電源変換ケーブルのもう一方をCD-ROMドライブなどに接続します。



8 手順1で取り外したパソコンのカバーやパソコン本体の電源ケーブルを元に戻します。

この後、以下へお進みください。

Windows 98 SEの場合は･･･ → **次ページへ**

Windows Me/2000の場合は･･･ → **【ステップ4】P38へ**

ステップ２ ドライバソフトをインストールする(Windows 98 SEのみ)

Windows Me/2000をお使いの場合・・・ **【ステップ４】P38へ**

ここでは、Windows 98 SEで本ボードを使用する場合に必要となるドライバソフトのインストールについて説明します。
Windows Me/2000の場合は、自動的にインストールされますので、インストール作業を行う必要はありません。【ステップ４】(P38)へお進みください。

ドライバソフトとは？

**各種ハードウェアを制御するソフトウェアです。
一般に新たなハードウェアを追加する場合、Windowsに標準的に組み込まれている以外は、ドライバソフトも追加登録する必要があります。
また、追加登録することを「インストールする」といいます。**

インストール前のポイント

①「Windows 98 SE」の CD-ROM をご用意ください。
　インストール時に「Windows 98 SE」CD-ROM が必要な場合があります。
②本ボードが正しく取り付けられているかを確認してください。
③1394 機器はまだ接続しないでください。

注意

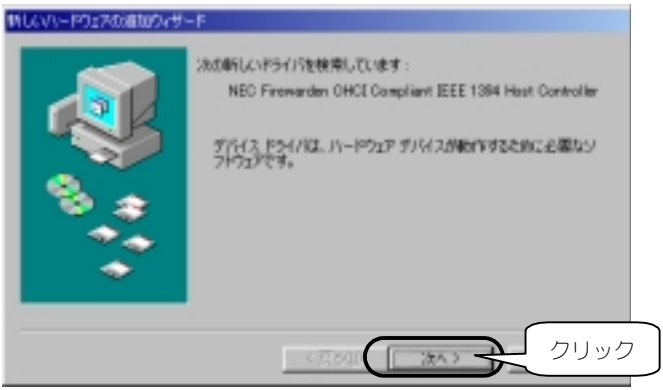
ここではまだ本ボードにDVカメラ等の1394機器は接続しないでください。

**※機器を接続したまま、パソコンの電源を入れた場合は正常にインストールできない場合があります。
1394機器を接続したままパソコンの電源を入れた場合は、次ページの手順２で［キャンセル］ボタンをクリックし、Windows 98 SEを終了後、機器を取り外し、再度パソコンを起動してください。**

1 パソコンの電源を入れ、Windows 98 SEを起動します。

2 以下の画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

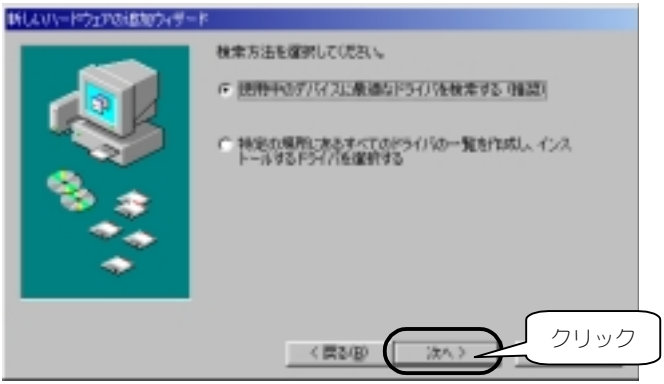
［NEC Firewarden OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］と表示されていることを確認してください。



このインストール画面が表示されない場合は…

「インストール画面が表示されない」(P77)をご参照ください。

3 ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)］を選択し、［次へ］をクリックします。

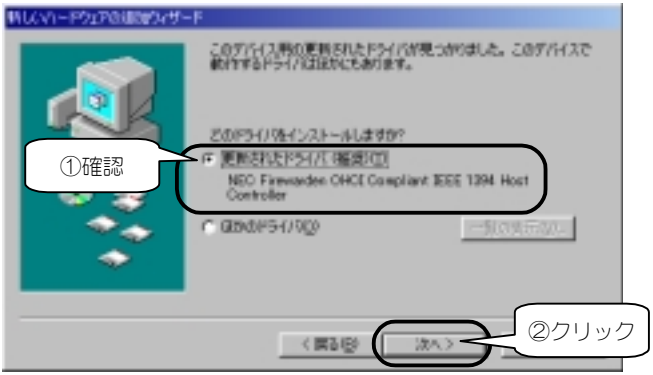


4 すべてのチェックを外し、［次へ］をクリックします。

※ 選択肢のチェックを入れる必要はありません。（選択されている場合はすべてのチェックを外してください。）

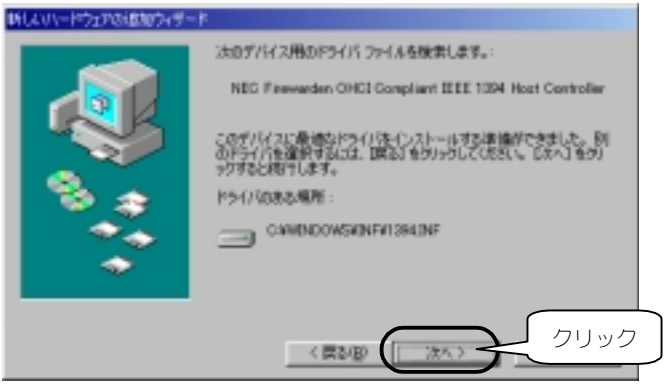
5 ［次へ］をクリックします。

「更新されたドライバ（推奨）」が選択されていることを確認してから［次へ］をクリックしてください。



6 ［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが始まります。



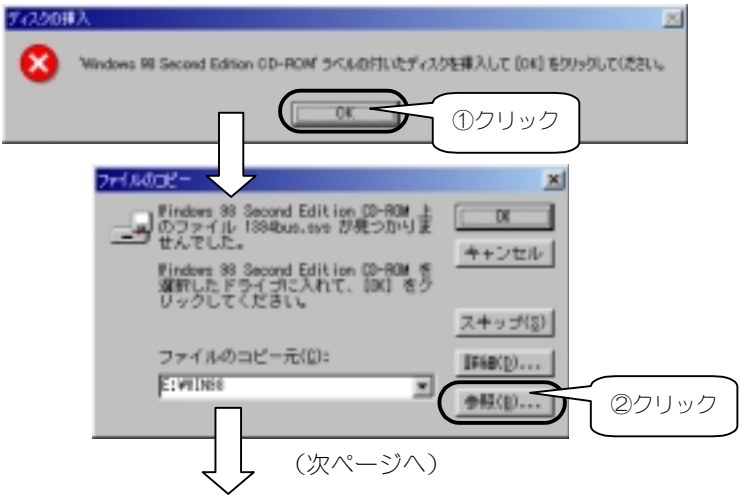
7 ［ディスクの挿入］画面が表示される場合があります。

表示されない場合 ⇒ そのまま手順８(P32)へお進みください。

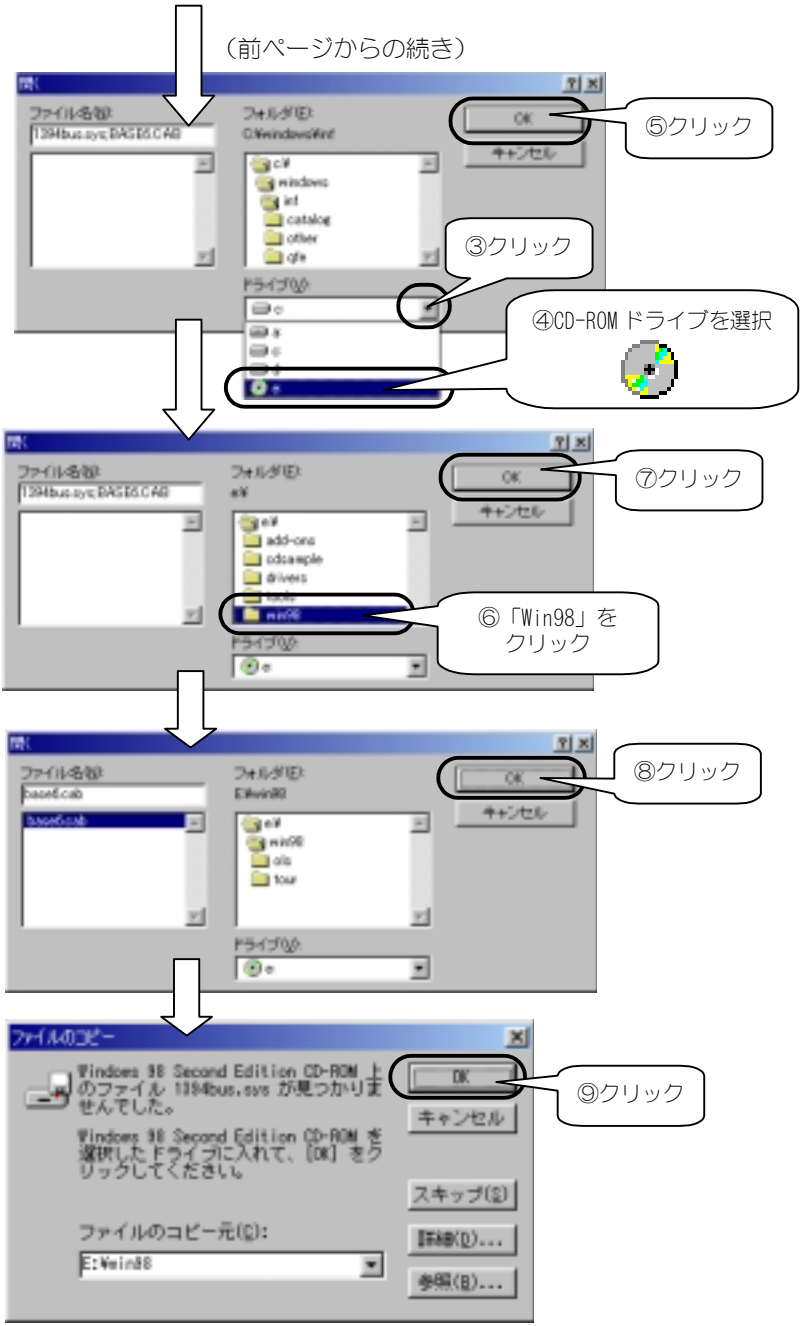
表示された場合

⇒ 「Windows 98 SE」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、［ＯＫ］をクリックします。

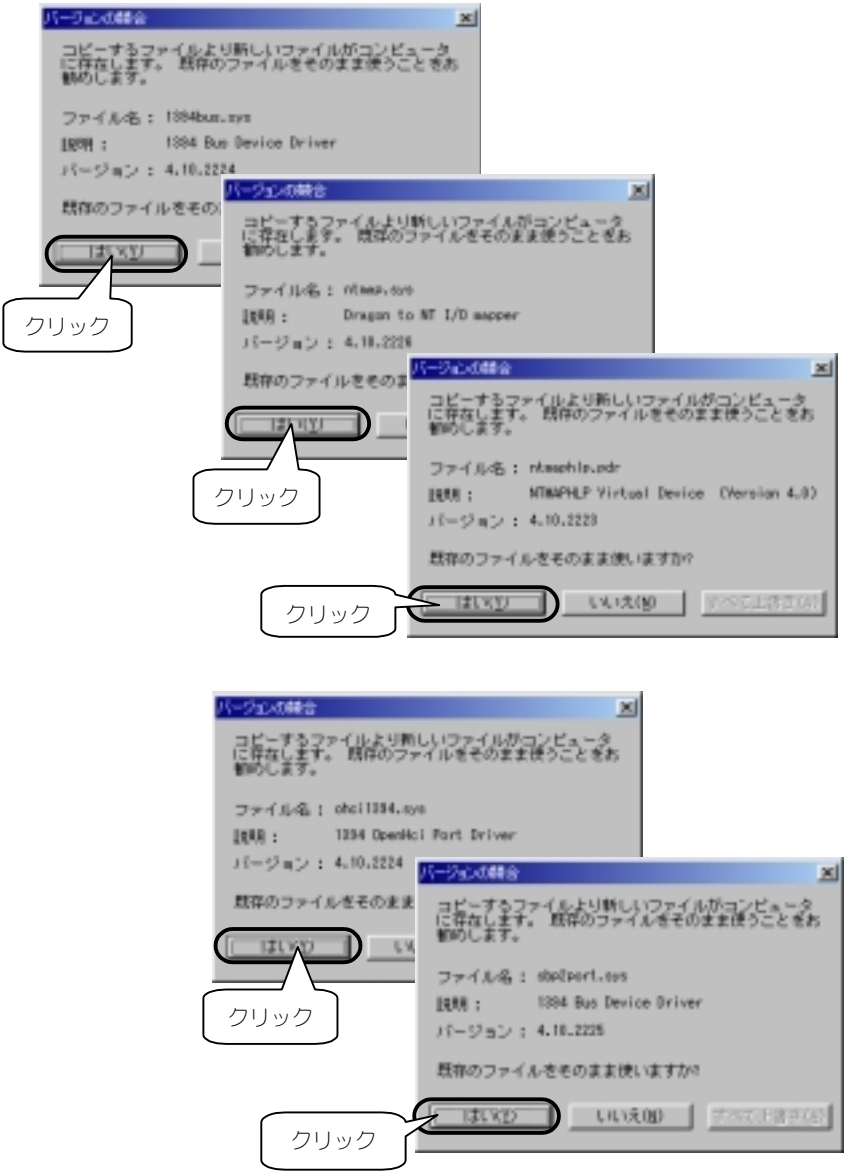
［ファイルのコピー］画面で、［参照］をクリックして、CD-ROM ドライブ（ここではＥ：)内の［Win98］を指定します。指定後、［ＯＫ］をクリックします。



（次ページへ）


（前ページからの続き）
⑤クリック
③クリック
④CD-ROM ドライブを選択
⑦クリック
⑥「Win98」を
クリック
⑧クリック
⑨クリック
ファイルのコピー
Windows 98 Second Edition CD-ROM 上のファイル 1394bus.sys が見つかりませんでした。
Windows 98 Second Edition CD-ROM を選択したドライブに入れて、[OK] をクリックしてください。
ファイルのコピー元(C):
E:¥win98
OK
キャンセル
スキップ(S)
参照(B)...

8 **以下の［バージョンの競合］画面が表示された場合は、すべて［はい］をクリックします。**



9 ［完了］をクリックします。

10 手順７で「Windows 98 SE」CD-ROMを使用した場合は、CD-ROMを取り出します。

以上で、ドライバのインストールは終了です。
次にWindows 98 SE自体をアップデートします。次ページへお進みください。

参考

インストールが正常に終了すると、次回からはそのまま使用できます。
（次回からP28の手順２以降のインストール画面は表示されません。）

ステップ3 Windows 98 SE自体をアップデートする(Windows 98 SEのみ)

Windows Me/2000をお使いの場合･･･ **【ステップ4】P38へ**

Windows 98 SEをお使いの場合は、Windows 98 SE自体を更にアップデートする必要があります。

アップデートは添付の「1394-PCIシリーズサポートソフト」で行います。

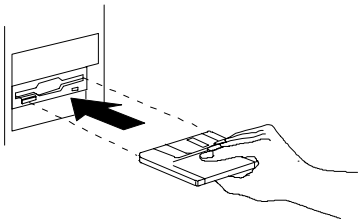
※このソフトウェアは、Windows 98をWindows 98 SEにアップデートするソフトウェアではありません。Windows 98をお使いの場合は、必ず、Windows 98 SEにアップグレードした後で、本ソフトウェアをご使用ください。

注意

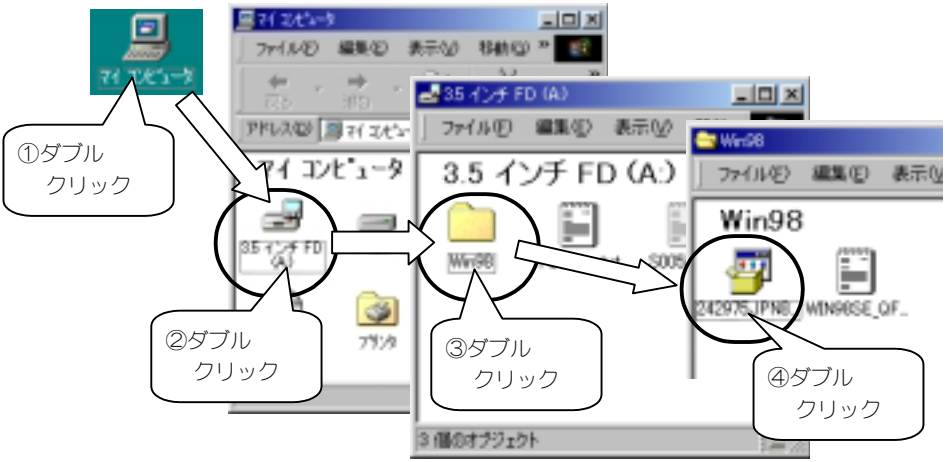
ここではまだ本ボードにDVカメラ等の1394機器は接続しないでください。

1 **Windows 98 SEを起動します。**

2 **「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。**



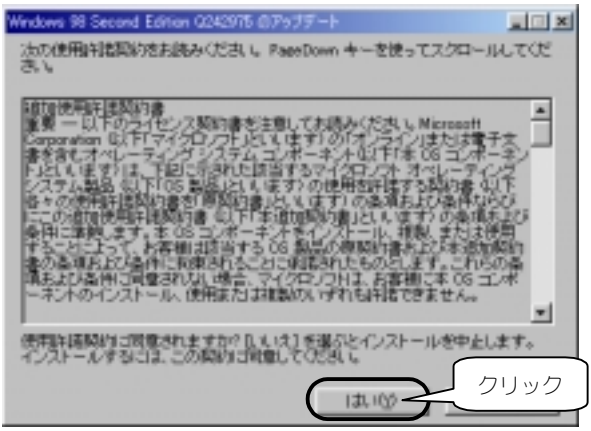
3　[マイコンピュータ] → [3.5インチFD] → [Win98] → [242975JPN8] を順にダブルクリックします。



4　[はい] をクリックします。

5 内容に同意するなら、［はい］をクリックします。

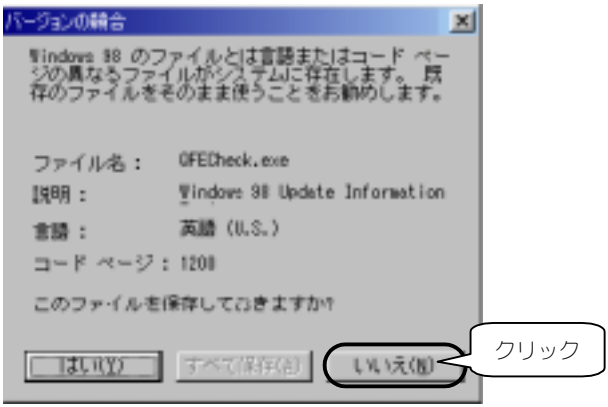
使用許諾契約書の内容に同意する場合のみ、［はい］ボタンをクリックします。



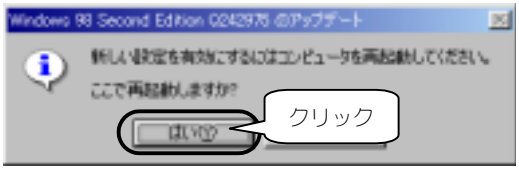
注意

このアップデートを行うと、元に戻すことはできません。内容をしっかりとご覧ください。

6 以下の画面が表示された場合は、［いいえ］をクリックします。



7　［はい］をクリックし、パソコンを再起動します。

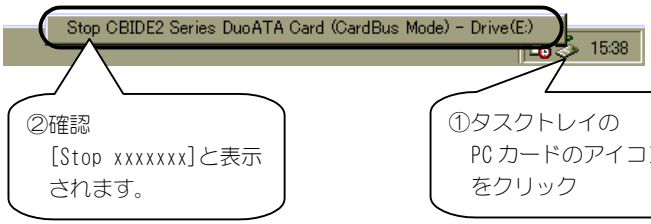


以上でWindows 98 SEのアップデートは終了です。

参考

お使いのパソコンでPCカードをご利用になられる場合、このアップデートを行うと、PCカード取り外し時のメッセージが以下のようになります。

タスクトレイのPCカードアイコンをクリックすると、以下のように［Stop XXXXXXXX（PCカード名とドライブ文字が入ります）］の表示となります。
取り外しは、［Stop XXXXXXXX］をクリックすれば取り外せます。



ステップ4

本ボードがパソコンに認識されているかを確認する

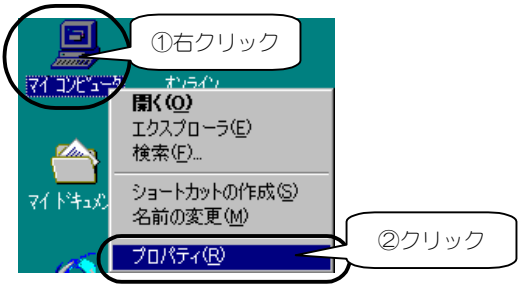
(Windows Me/98 SE、Windows 2000)

本ボードが正常にパソコンに認識されているか（正常にインストールされたか）を確認してみましょう。

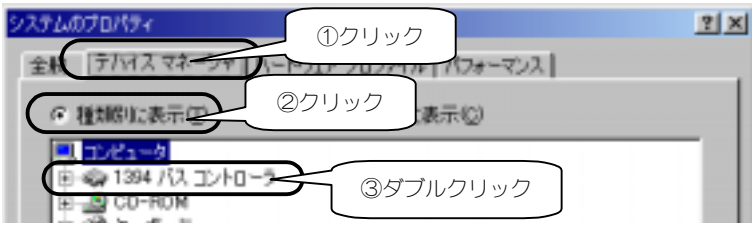
・Windows Me/98 SEの場合は以下を参照してください。
・Windows 2000の場合はP41を参照してください。

Windows Me/98 SEの場合

1 **［マイコンピュータ］を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。**



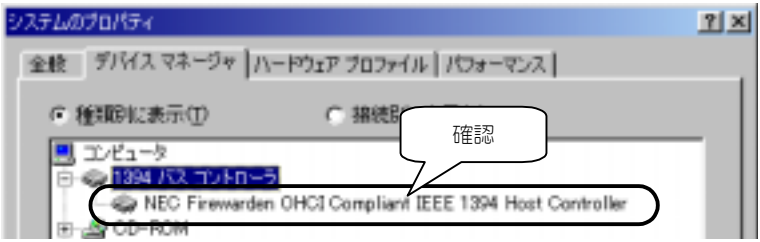
2 **［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［種類別に表示］で［1394 バスコントローラ］をダブルクリックします。**



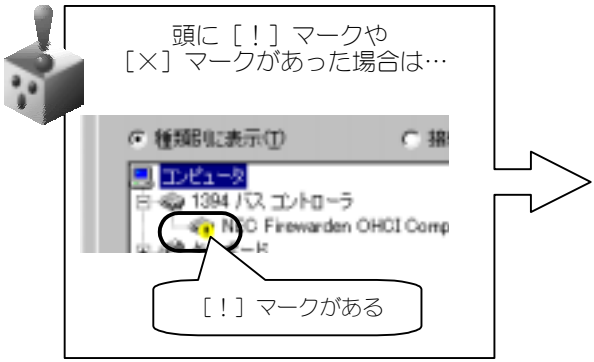
［1394 バスコントローラ］が見当たらない場合は…

「1394 バスコントローラの表示がない」(P77) をご参照ください。

3 **[NEC Firewarden OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller] が登録（表示）されていることを確認してください。**



4 **[NEC Firewarden OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller] の頭に［!］マークや［×］マークがないことも確認してください。**



「[NEC Firewarden OHCI Compliant ‥‥] の頭に［!］マークや［×］マークがある」(P78) をご参照ください。

インストールが正常ならば

1394-PCI2/DVCをお使いの場合

この後、『VideoStudio』、『COOL 3D』をインストールします。
【ステップ5】(P44)、【ステップ6】(P45)へお進みください。

1394-PCI2をお使いの場合

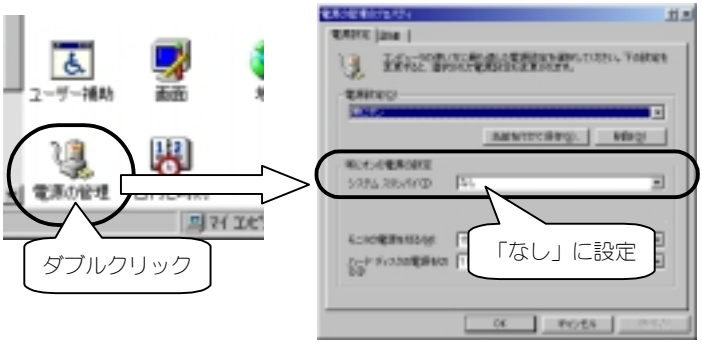
この後、お持ちのストレージ機器を接続します。
【活用する②】(P61)へお進みください。

注意

本ボードは、Windows Me/98 SEのACPI規格には対応しておりません。
従って、本ボードを取り付けた状態では以下の①および②にご注意ください。

①スタンバイ機能は無効に設定してください。

1. **[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックします。**
2. **[電源の管理]をダブルクリックし、[システムスタンバイ]の設定を[なし]に設定してください。**



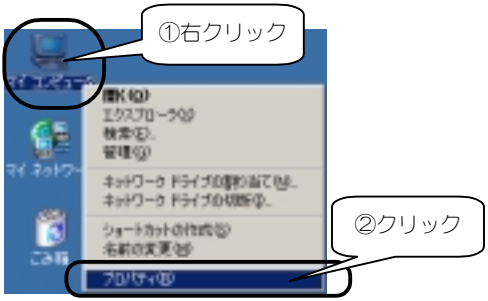
②[スタート]→[Windowsの終了]→[スタンバイ]は実行しないでください。

ACPIとは？

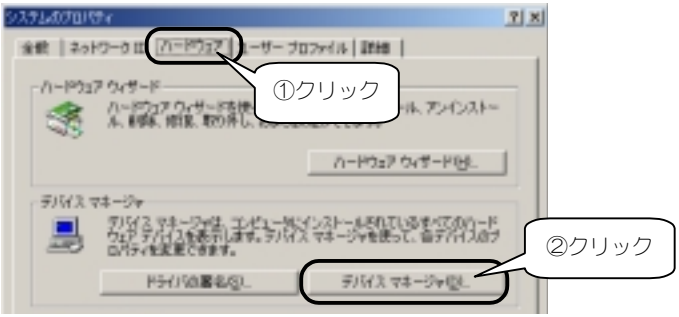
米マイクロソフト社、米インテル社、東芝の3社が提唱しているパソコンの省電力モードなどの電力制御や、パソコンに接続される家庭電化製品の電源の制御などを、OS(オペレーティング･システム)から行うことができる低消費電力機構の規格です。

Windows 2000の場合

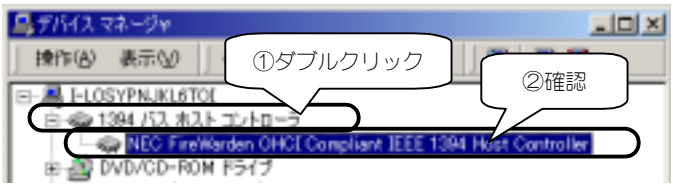
1 **［マイコンピュータ］を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。**



2 **［ハードウェア］タブ、続けて［デバイスマネージャ］をクリックします。**



3 [1394バスホストコントローラ]をダブルクリックし、[NEC Firewarden OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]が登録（表示）されていることを確認してください。

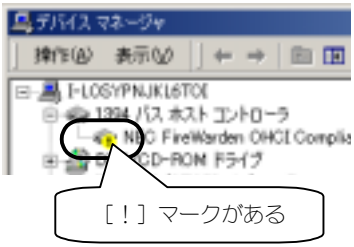


［1394 バスコントローラ］が見当たらない場合は…

「[1394 バスホストコントローラ］の表示がない」(P77)をご参照ください。

4 [NEC Firewarden OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]の頭に［!］マークや［×］マークがないことも確認してください。

頭に［!］マークや［×］マークがあった場合は…



「[NEC Firewarden OHCI Compliant ····]の頭に［!］マークや［×］マークがある」(P78)をご参照ください。

インストールが正常ならば

1394-PCI2/DVCをお使いの場合

この後、『VideoStudio』、『COOL 3D』をインストールします。
次ページからの【ステップ5】、【ステップ6】へお進みください。

1394-PCI2をお使いの場合

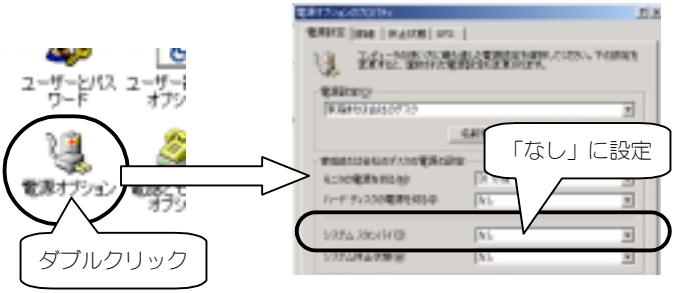
この後、お持ちのストレージ機器を接続します。
【活用する②】(P61)へお進みください。

注意

本ボードは、Windows 2000のACPI規格には対応しておりません。
従って、本ボードを取り付けた状態では以下の①および②にご注意ください。

① スタンバイ機能は無効に設定してください。

1. **［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を順にクリックします。**
2. **［電源オプション］をダブルクリックし、［電源設定］タブの［システムスタンバイ］の設定を［なし］に設定してください。**
   （［システムスタンバイ］の設定が表示されない機種もあります。その場合は特に設定はありません。）



② ［スタート］→［シャットダウン］→［スタンバイ］は実行しないでください。（［スタンバイ］が表示されない機種もあります。）

ACPIとは？

米マイクロソフト社、米インテル社、東芝の3社が提唱しているパソコンの省電力モードなどの電力制御や、パソコンに接続される家庭電化製品の電源の制御などを、OS(オペレーティング･システム)から行うことができる低消費電力機構の規格です。

ステップ５　『VideoStudio』をインストールする（1394-PCI2/DVCのみ）

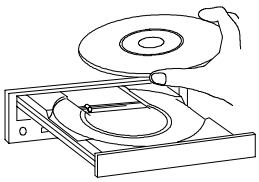
1394-PCI2/DVCには、DV機器のテープなどのメディアの映像をディスプレイ上に再生したり、編集した映像を録画するためのソフトウェア『Ulead VideoStudio4』を添付しています。

※『Ulead VideoStudio4』は、DV機器を含む1394機器を使用する上で必ずしもインストールする必要はありません。

※1394-PCI2には添付されておりません。

ここでは、『Ulead VideoStudio4』のインストール方法について説明します。

1　「Ulead VideoStudio 4」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。



2　メニュー画面が表示されます。『Ulead VideoStudio 4.0をインストールする』をクリックします。

後は別冊『Ulead VideoStudio取扱説明書』を参照してください。
インストール後、次ページ【ステップ６】へお進みください。

ステップ6 『COOL 3D』をインストールする（1394-PCI2/DVCのみ）

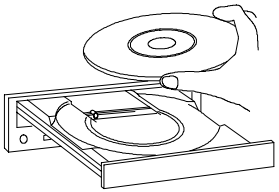
1394-PCI2/DVCには、表現力のある強力な3Dタイトルを作成するための高性能3Dタイトルアニメータソフトウェア『Ulead COOL 3D』を添付しています。

※『Ulead COOL 3D』は、DV機器を含む1394機器を使用する上で必ずしもインストールする必要はありません。

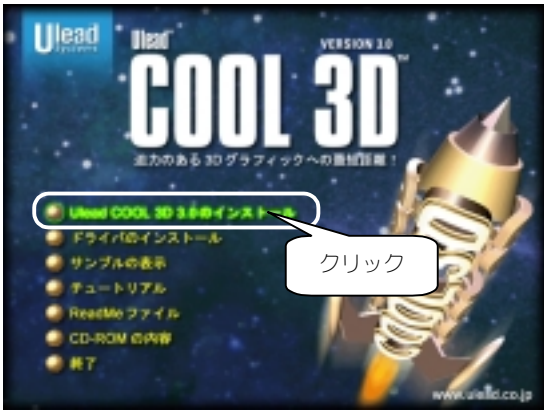
※1394-PCI2には添付されておりません。

ここでは、『Ulead COOL 3D』のインストール方法について説明します。

1 「Ulead COOL 3D」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。



2 メニュー画面が表示されます。
『Ulead COOL 3D 3.0をインストール』をクリックします。



後は画面の指示に従ってください。（詳細は、CD-ROM内の取扱説明書データ(PDFファイル)を参照してください。）
インストール後、【活用する①】(P47)へお進みください。

MEMO

活用する①
(DV機器を接続する場合)

ここではDV機器を接続して使用する際の設定について説明します。

ステップ1

▼

基本操作について

DV機器の接続および取り外しについての基本操作について説明します。 (P48)

ステップ2

▼

内蔵ハードディスクのDMA設定を確認する (Windows Me/98 SEのみ)

Windows Me/98 SEでの内蔵ハードディスクのDMA設定について確認します。 (P49)

ステップ3

▼

DV機器を接続する

DV機器を接続します。 (P52)

ステップ4

▼

DV機器が正しく接続されているかを確認する

DV機器が正しく接続されているかをWindows上から確認します。 (P55)

ステップ5

▼

DV機器をWindows上から操作する

DV機器をWindows上から操作します。 (P59)

ステップ6

DV機器を取り外す場合

接続したDV機器を、パソコンから取り外す場合について説明します。 (P60)

ステップ1

基本操作について

ここでは、本ボードにDV機器を接続する場合、取り外す場合の基本的な操作について説明します。

DV機器を本ボードに接続する場合・取り外す場合

DV機器は、1394対応のケーブルで本ボードに接続します。
パソコンの電源が入っている状態でも接続できます。
※コネクタの向きなどを確認した上で接続してください。

注意

DV機器に関する注意事項

DV機器の接続、取り外しおよび使用方法については、DV機器の取扱説明書を参照してください。誤った操作方法は、DV機器の故障、データの消失、またはWindowsの正常動作の妨げとなりますのでご注意ください。

- **DV機器は、電源を入れてから本ボードに接続してください。**
  DV機器の電源を切った状態で本ボードに接続すると、DV機器が認識されないなどの現象が発生し、正常に動きません。
- **DV機器の動作中に、ケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。**
- **DV機器を含む複数の1394機器を本ボードに接続した場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。**
  また、DV機器を含む1394機器の動作中に他の1394機器を接続することも正常動作の妨げになる場合があります。

※DV機器を含む1394機器が正常に動かない場合や認識されない場合は、いったんケーブルを抜いてから1394機器の電源を入れ直し、1394機器の電源を入れた状態で再度接続してください。また、必ず各1394機器の取扱説明書も参照してください。

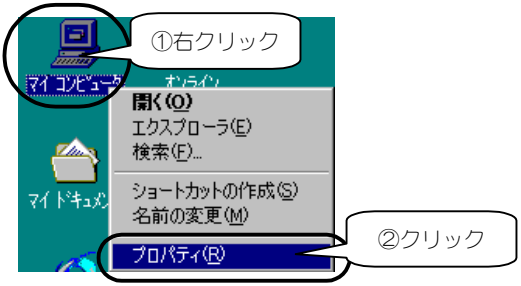
ステップ２ 内蔵ハードディスクのDMA設定を確認する（Windows Me/98 SEのみ）

Windows MeおよびWindows 98 SEをお使いの場合で、内蔵ハードディスクに動画（AVI）ファイルを取り込む場合には、ハードディスクにDMAの設定がされていないとコマ落ちが発生する場合があります。
以下の手順で、DMAの設定がされているか確認・設定してください。
※設定できない場合もあります。

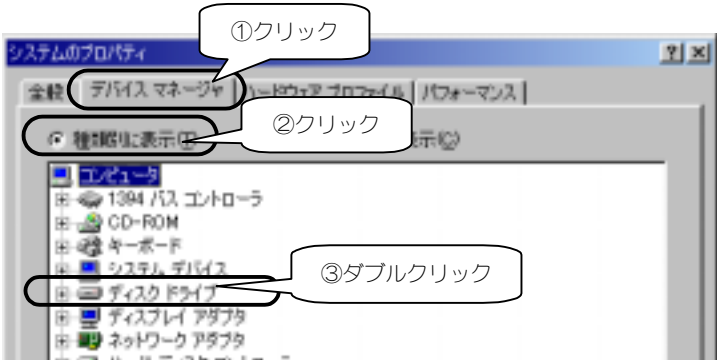
注意

1) **DMAの設定が必要なのは、パソコン本体（のIDE端子）に接続された内蔵ハードディスク以外の場合は特に設定の必要はありません。**
2) **内蔵ハードディスクの性能によっては、動画キャプチャ書き戻し時にコマ落ち・音飛びが発生する場合があります。**
できる限り、高速なハードディスクをご利用になることをおすすめします。（P9参照）
3) **Windows 2000では、DMAを使用可能な場合、自動的に設定されますので、設定の必要はありません。**

1 ［マイコンピュータ］を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。

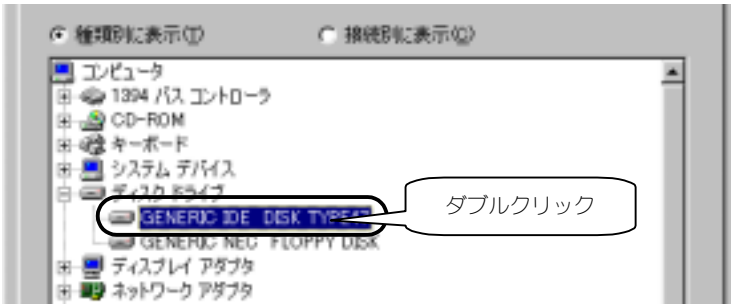


2 ［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［種類別に表示］で［ディスクドライブ］をダブルクリックします。

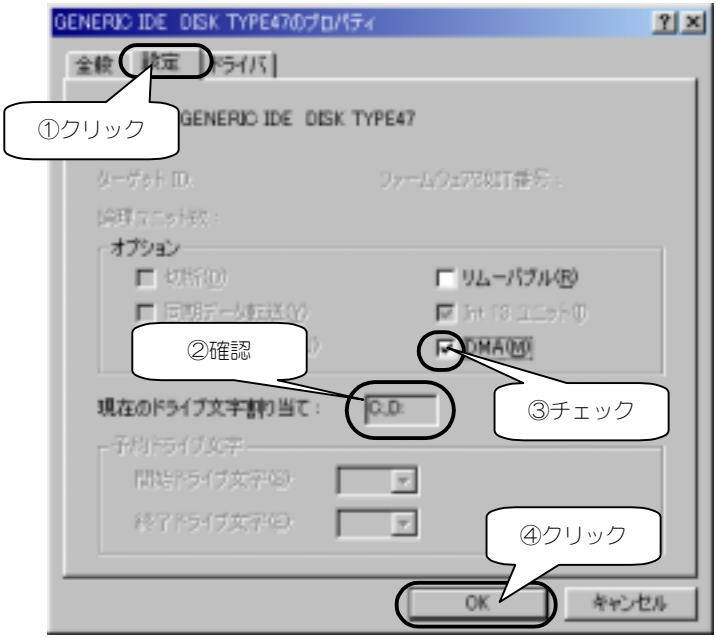


3 ［GENERIC IDE DISK ・・・・］をダブルクリックします。

複数の［GENERIC IDE DISK ・・・・］が表示されている場合は、上から順にダブルクリックしてください。



4 **［設定］タブをクリックします。**
［現在のドライブ文字割り当て］でファイルを保存するドライブ名であることを確認します。
確認後、［オプション］の［DMA］のチェックが入っていることを確認してください。
チェックされていない場合はチェックし、［OK］をクリックしてください。



注意

パソコンの取扱説明書に以下のような記述がある場合は、DMAはチェックしないでください。（その場合、コマ落ちが発生する場合があります。）

1.「ハードディスクはPIOモードで転送する」
2.「ハードディスクでDMA転送をしない」

ステップ3

ＤＶ機器を接続する

本ボードにDV機器を接続してみましょう。

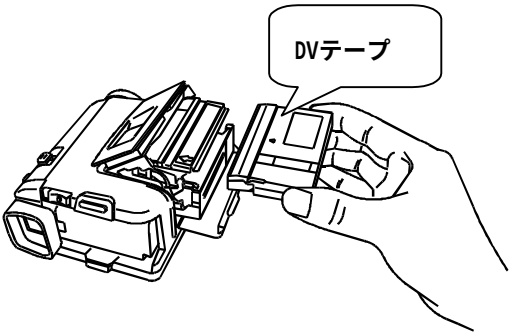
1 DV機器の電源が入っていることを確認してください。

※DV機器が［ビデオ(再生)モード］になっていることも確認してください。

注意

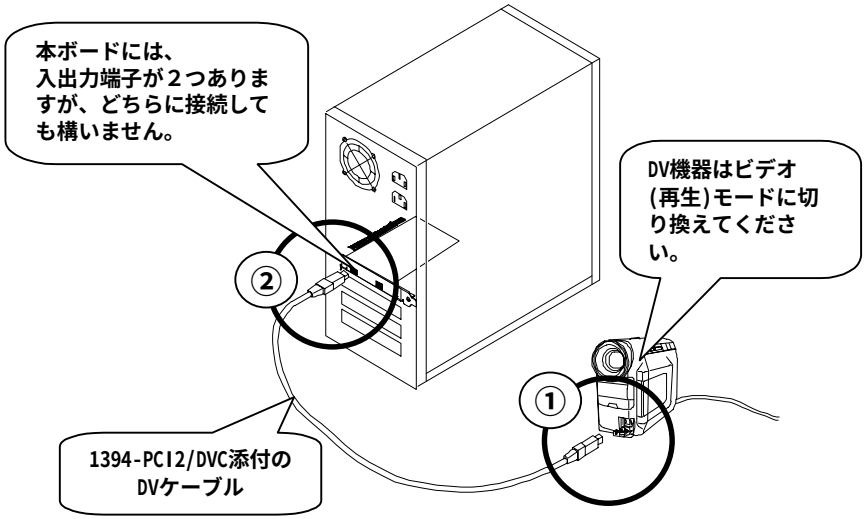
DV機器の操作方法については、各DV機器メーカーへお問い合わせください。

2 DV機器に録画済みのDVテープなどのメディアを挿入してください。



3 DV機器にある4ピンタイプのDV(i.LINK)端子と本ボードを、DVケーブル(6ピン⇔4ピン：1394-PCI2/DVCのみ添付)で接続します。

※6ピンタイプのDV機器と接続する場合は、機器に付属または市販の6ピン⇔6ピンのDVケーブルが必要です。



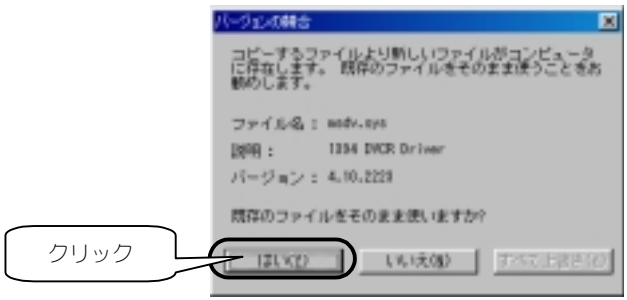
接続時のポイント

①DV 機器の電源を入れてから、本ボードに接続します。
②パソコンの電源が入っている状態で、DV 機器を接続できます。

4 接続すると、パソコン(Windows)が、接続したDV機器を自動認識します。

注意

Windows 98 SEで以下の画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてください。



ステップ4

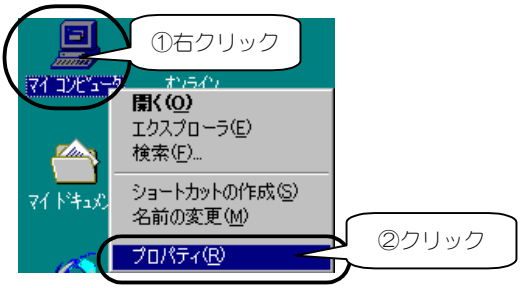
ＤＶ機器が正しく接続されているかを確認する

ここでは、DV機器が正しく接続されているかをWindows上から確認します。

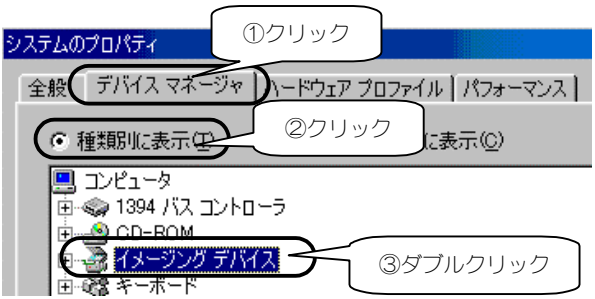
・Windows MeおよびWindows 98 SEの場合は以下を参照してください。
・Windows 2000の場合は次ページを参照してください。

Windows Me/98 SEの場合

1 **［マイコンピュータ］を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。**



2 **［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［種類別に表示］で［イメージングデバイス］をダブルクリックします。**

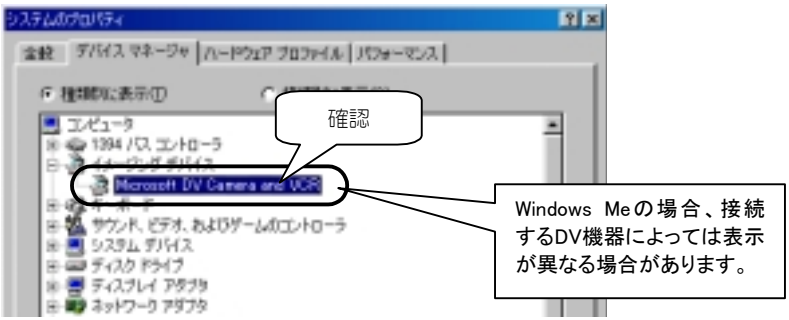


［イメージングデバイス］が見当たらない場合は…

「［イメージングデバイス］の表示がない」(P77)をご参照ください。

3 **[Microsoft DV Camera and VCR] ※が登録（表示）されていれば、DV機器が正常に接続されています。**

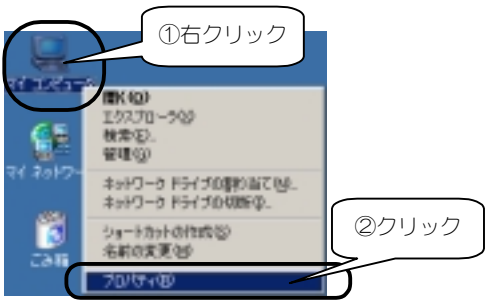
※Windows Meの場合、接続するDV機器によっては表示が異なる場合があります。



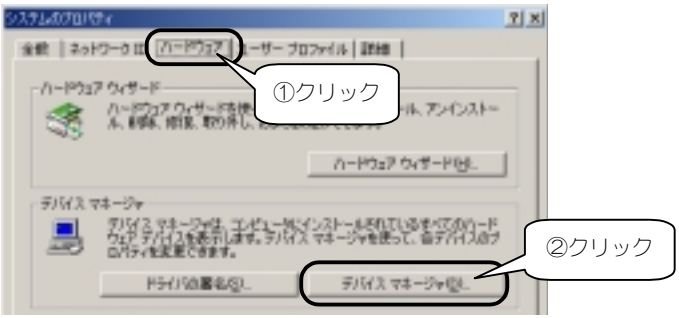
以上で、Windows Me/98 SEでのDV機器の接続の確認は終了です。
DV機器をパソコン上から操作する場合は、【ステップ５】(P59)を参照してください。

Windows 2000の場合

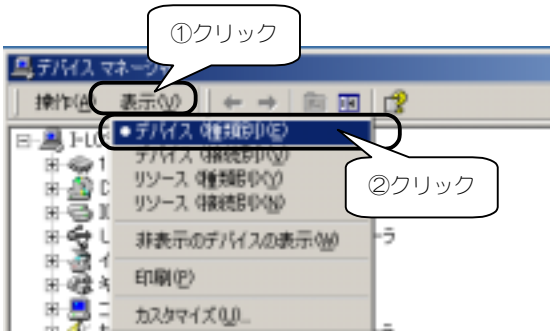
1 **[マイコンピュータ] を右クリックし、メニュー内の [プロパティ] をクリックします。**



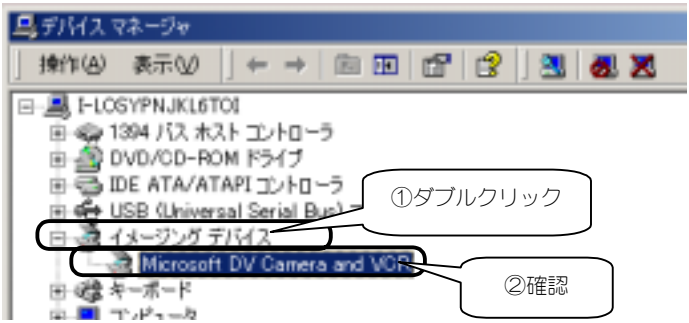
2 **［ハードウェア］タブ、続けて［デバイスマネージャ］をクリックします。**



3 **［表示］メニュー内の［デバイス（種類別）］をクリックします。**



4 ［イメージングデバイス］をダブルクリックし、［Microsoft DV Camera and VCR］が登録（表示）されていれば、DV機器が正常に接続されています。



［イメージングデバイス］が見当たらない場合は…

「［イメージングデバイス］の表示がない」(P77)をご参照ください。

5 ［デバイスマネージャ］を閉じます。

以上で、Windows 2000でのDV機器の接続の確認は終了です。
DV機器をパソコン上から操作する場合は、次ページ【ステップ5】を参照してください。

ステップ5

ＤＶ機器を Windows上から操作する

それでは、DV機器をWindows上から操作してみましょう。
Windows上からの操作は、添付の『VideoStudio』などのアプリケーションソフトで行います。

※『VideoStudio』の使用方法その他については、別冊『VideoStudio取扱説明書』を参照してください。

※『COOL 3D』の使用方法その他については、ヘルプやCD-ROM内の取扱説明書（PDFファイル）を参照してください。

注意

1)DV機器の操作中は、ケーブルの抜き挿しを行わないでください。

2)VideoStudioを使用する際は、ディスプレイの省電力設定・スクリーンセーバー、OSの省電力設定を使用しないでください。（設定についてはパソコンメーカーにご確認ください。）

サービス品に関するお問い合わせ

添付のサービス品『VideoStudio』および『COOL 3D SE』に関しては、ユーリードシステムズ株式会社まで

●お問い合わせ先

ユーリードシステムズ株式会社ユーザーサポート係

電話番号　03-5491-5662

FAX番号　03-5491-5663

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.ulead.co.jp

E-mail　support@ulead.co.jp

受付時間　平日 10:00〜12:00　13:00〜17:00

ステップ6　ＤＶ機器を取り外す場合

DV機器を取り外す場合は、以下の手順にて取り外してください。

1　本ボードに接続しているケーブルから取り外します。

注意

1)パソコンの電源が入っている状態でも取り外せます。
2)取り外す際には、必ずケーブルのコネクタを持って取り外してください。ケーブルを持って取り外さないでください。
3)DV機器が動作していないこと（再生などを行っていないこと）を確認した上で取り外してください。
4)DV機器を操作するアプリケーション（添付のVideoStudioなど）を終了してから取り外してください。
5)DV機器を含む複数の1394機器を接続している場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。

参考

DV機器の電源を切ってから取り外すこともできます。

2　ケーブル取り外し後、DV機器の電源を切ってください。

活用する②
（ストレージ機器［ハードディスクやMOドライブ等］を接続する場合）

ここでは本ボードにハードディスクやMOドライブなどのストレージ機器を接続して使用する際の設定について説明します。

ステップ1

▼

基本操作について

ストレージ機器（ハードディスクやMOドライブなど）の接続および取り外しの基本操作について説明します。 （P62）

ステップ2

▼

ストレージ機器を接続する

ストレージ機器を接続します。 （P63）

ステップ3

▼

ストレージ機器が正しく接続されているかを確認する

ストレージ機器が正しく接続されているかをWindows上から確認します。 （P65）

ステップ4

ストレージ機器の正しい取り外し手順

接続したストレージ機器のパソコンからの取り外し手順について説明します。 （P71）

ステップ1

基本操作について

ここでは、本ボードに1394対応のストレージ機器（ハードディスクやMOドライブ等）を接続する場合、取り外す場合の基本的な操作について説明します。

機器を本ボードに接続する場合・取り外す場合

ストレージ機器は、1394対応のケーブルで本ボードに接続します。
パソコンの電源を入れた状態でも接続できます。

※コネクタの向きなどを確認した上で接続してください。

※Windows使用中に取り外す場合は、【ステップ4】(P71)の手順で取り外してください。

注意

1394対応のストレージ機器に関する注意事項

ストレージ機器の接続、取り外しおよび使用方法については、ストレージ機器の取扱説明書を参照してください。誤った操作方法は、ストレージ機器およびディスクの破損もしくはデータの消失、またはWindowsの正常動作の妨げとなりますのでご注意ください。

- **ストレージ機器は、電源を入れてから本ボードに接続してください。ストレージ機器の電源を切った状態で本ボードに接続すると、機器が認識されないなどの現象が発生し、正常に動作しません。**
- **ストレージ機器の動作中に、ケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。**
- **ストレージ機器を含む複数の1394機器を本ボードに接続した場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。**
  また、1394機器の動作中に他の1394機器を接続することも正常動作の妨げになる場合があります。

※ストレージ機器を含む1394機器が正常に動作しない場合や認識されない場合は、いったんケーブルを抜いてから1394機器の電源を入れ直し、1394機器の電源を入れた状態で再度接続してください。また、必ず各1394機器の取扱説明書も参照してください。

ステップ2

ストレージ機器を接続する

本ボードに1394対応のハードディスクやMOドライブ等のストレージ機器を接続してみましょう。

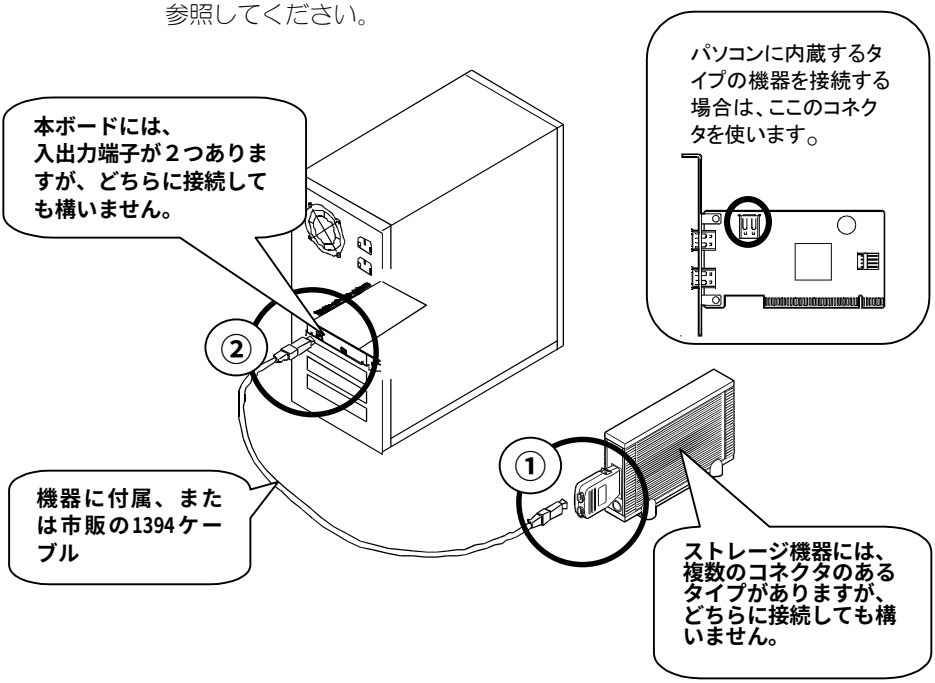
1 お使いのストレージ機器の電源を入れてください。

注意

ストレージ機器の操作については、各機器メーカーへお問い合わせください。

2 機器にある1394(i.LINK)端子と本ボードを、1394ケーブルで接続します。

※ケーブルは機器付属のもの、あるいは市販のケーブル（6ピン⇔6ピン）をご使用ください。
ストレージ機器との接続の詳細は、ストレージ機器の取扱説明書を参照してください。



接続時のポイント

①ストレージ機器の電源を入れてから、本ボードに接続します。
②パソコンの電源が入っている状態で、ストレージ機器を接続できます。

注意

本製品から機器に電源を供給する場合、機器すべての消費電力が15Wを超えないようにしてください。超える場合は、機器に直接ACアダプタ等で給電するようにしてください。

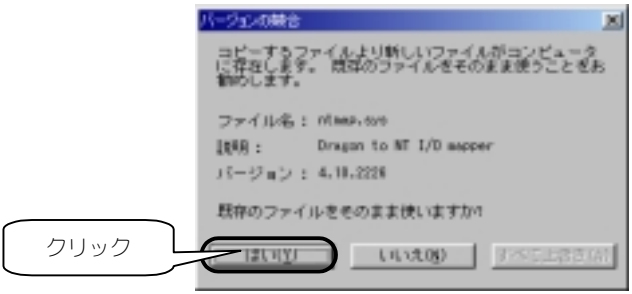
3 接続すると、パソコン(Windows)が、接続したストレージ機器を自動認識します。

注意

1)本ボードに２台以上の機器を接続する場合には、注意が必要です。
詳細は、【本ボードに２台以上の機器を接続する場合】(P83)を参照してください。
2)本ボードに接続したストレージ機器からパソコンを起動させることはできません。

注意

Windows 98 SEで『バージョンの競合』画面が表示された場合は、すべて［はい］をクリックしてください。



ステップ3 ストレージ機器が正しく接続されているかを確認する

ここでは、ストレージ機器が正しく接続されているかをWindows上から確認します。

・Windows Me/98 SEの場合は以下を参照してください。
・Windows 2000の場合はP69を参照してください。

注意

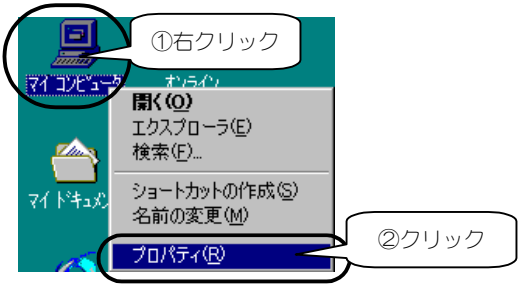
1)確認は以下の手順のように［デバイスマネージャ］画面で確認できますが、表示は接続したストレージ機器により異なります。詳細は、ストレージ機器の取扱説明書を参照するか、またはストレージ機器メーカーにお問い合わせください。
2)本取扱説明書には、ストレージ機器のフォーマット方法は記載されておりません。フォーマットが必要な機器については、ストレージ機器の取扱説明書を参照するか、またはストレージ機器メーカーにお問い合わせください。

Windows Me/98 SEの場合

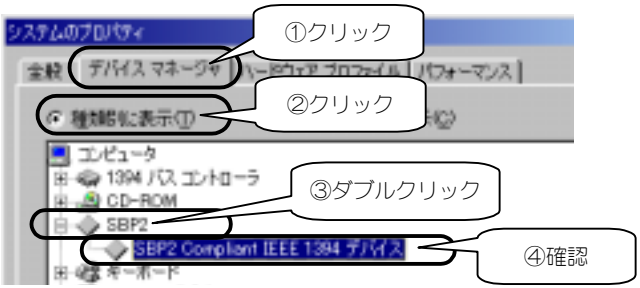
接続の確認は【デバイスマネージャ】画面で行いますが、表示は接続したストレージ機器により異なります。
詳細は各ストレージ機器の取扱説明書を参照してください。

ここでは、例としてハードディスク、MOドライブを接続した場合を説明します。

1 ［マイコンピュータ］を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。



2 ［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［種類別に表示］で［SBP2］をダブルクリックし、［SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス］が表示されているかを確認します。



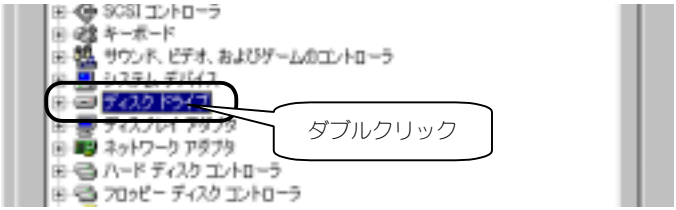
［SBP2］が見当たらない場合は…

「［SBP2］の表示がない」(P78)をご参照ください。

［SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス］が見当たらない場合は…

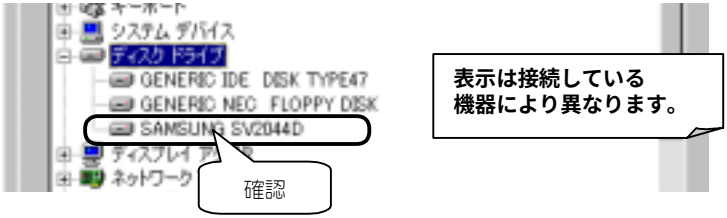
「［SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス］の表示がない」(P78)をご参照ください。

3 ［ディスクドライブ］をダブルクリックします。



4 接続したストレージ機器が表示されているかを確認します。表示されていれば、正常に認識されています。

※表示は接続したストレージ機器により異なります。
詳細については、ストレージ機器の取扱説明書を参照するか、または
ストレージ機器メーカーにご確認ください。



接続している機器がわからない
場合は・・・

以下の手順で確認することができます。

1 **【ステップ4】(P71)を参照して、一旦接続している機器を取り外します。**

2 **取り外し後、前ページの手順で再度［ディスクドライブ］の表示を確認します。**

3 **接続する機器の電源が入っていることを確認後、本ボードに機器を接続します。**

4 **再度、［ディスクドライブ］の表示を確認します。**
追加されているドライブ（の表示）が、本ボードに接続した機器です。

機器の表示がない場合は…

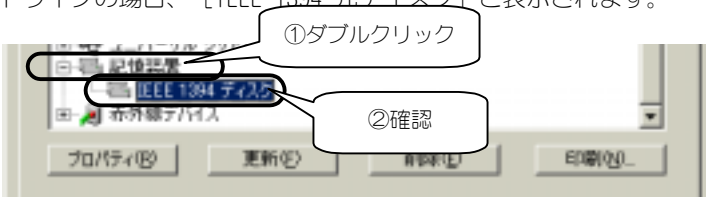
「接続したストレージ機器が［デバイスマネージャ］の［ディスクドライブ］に表示されない」(P80)をご参照ください。

5 ［記憶装置］をダブルクリックし、その下に接続した機器が表示されていることを確認します。

※表示については、ストレージ機器の取扱説明書を参照してください。

・Windows Meの場合

ハードディスクの場合、［IEEE 1394 ディスク］と表示されます。
MOドライブの場合、［IEEE 1394 光ディスク］と表示されます。



・Windows 98 SEの場合

ハードディスクの場合、［1394/USB ディスク］と表示されます。
MOドライブの場合、［1394/USB 光ディスク］と表示されます。

6 ［OK］ボタンをクリックします。

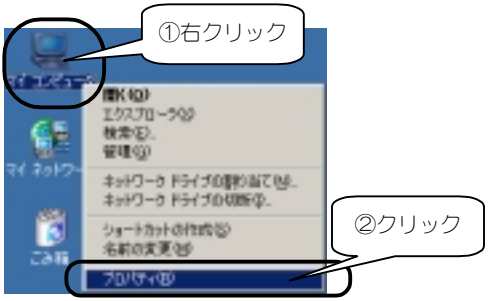
以上で、Windows Me/98 SEでのストレージ機器の接続の確認は終了です。

Windows 2000の場合

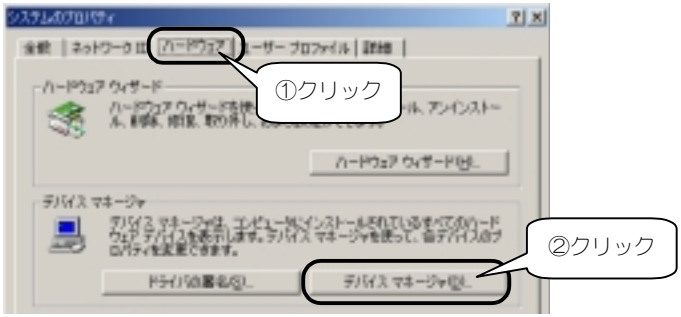
接続の確認は［デバイスマネージャ］画面で行いますが、表示は接続したストレージ機器により異なります。
詳細は各ストレージ機器の取扱説明書を参照してください。

ここでは、例としてハードディスク、MOドライブを接続した場合を説明します。

1 ［マイコンピュータ］を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。



2 ［ハードウェア］タブ、続けて［デバイスマネージャ］をクリックします。



3 [表示]メニュー内の［デバイス（種類別）］をクリックします。

4 [ディスクドライブ]をダブルクリックし、その下に接続した機器が表示されていることを確認します。

※表示は接続したストレージ機器により異なります。詳細については、ストレージ機器の取扱説明書を参照するか、またはストレージ機器メーカーにご確認ください。

参考

接続している機器は、次ページ【ステップ４】での取り外し時に表示される機器名でも確認できます。

機器の表示がない場合は…

「接続したストレージ機器が［デバイスマネージャ］の［ディスクドライブ］に表示されない」(P80)をご参照ください。

5 ［デバイスマネージャ］を閉じます。

以上で、Windows 2000でのストレージ機器の接続の確認は終了です。

ステップ4

ストレージ機器の正しい取り外し手順

ストレージ機器を取り外す場合は、以下の手順（ストレージ機器の停止）を行った後で、本ボードに接続しているケーブルを取り外してください。
ケーブル取り外し後、ストレージ機器の電源を切ってください。

注意

1)パソコンの電源が入っている状態でも取り外せます。
2)取り外す際には、必ずケーブルのコネクタを持って取り外してください。ケーブルを引っ張って取り外さないでください。
3)ストレージ機器が動作していないこと（読み込み・書き込みなどを行っていないこと）を確認した上で取り外してください。
4)ストレージ機器を操作するアプリケーションを終了してから取り外してください。
5)ストレージ機器の後にさらにストレージ機器をデイジーチェーン接続して使用している場合は、後のストレージ機器を先に取り外してください。
6)ストレージ機器を含む複数の1394機器をデイジーチェーン接続した場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。

1 ストレージ機器が動作していないことを確認します。

2 タスクトレイのアイコンをクリックします。

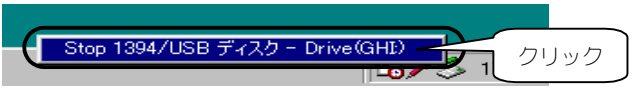
3 以下のように表示される項目をクリックします。

Windows Meの場合、［IEEE 1394 xxxxxxx の停止］と表示されます。
Windows 98 SEの場合、［Stop 1394/USB xxxxxxx］と表示されます。
Windows 2000の場合、［xxxxxxx を停止します］と表示されます。

※'xxxxxxx'の箇所は、お使いのストレージ機器により異なります。

Windows Me での表示例

Windows 98 SE での表示例



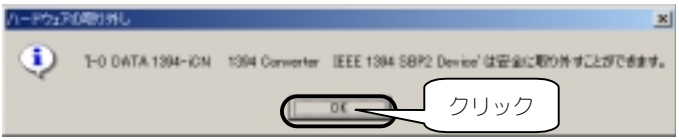
Windows 2000 での表示例

4 ［OK］をクリックします。

Windows Me での表示例

Windows 98 SE での表示例

Windows 2000 での表示例



［取り外しができません」と
表示された場合は…

［ストレージ機器の取り外し
の際に……」(P80)を
ご参照ください。

１分以上待っても
前ページのメッセージが
表示されない場合は…

［ストレージ機器の取り外し
の際に……」(P80)を
ご参照ください。

5 ケーブル取り外し後、ストレージ機器の電源を切ってください。

以上で、ストレージ機器の取り外し手順は終了です。
ケーブルを取り外してください。

MEMO

付録

正常に動作しない場合

ドライバソフトのインストールがうまくできなかった場合や、本ボードを使用中に異常があったときにご覧ください。 (P76)

本ボードに２台以上の機器を接続する場合

本ボードに２台以上の機器を接続する場合について説明します。 (P83)

用語解説

本ボードに関連する用語について説明します。 (P87)

仕様

本ボードの仕様の一覧です。 (P88)

正常に動作しない場合(目次)

本ボードを使用していて異常があった場合にご覧ください。

状態	参照ページ
インストール画面が表示されない (Windows 98 SEのみ)	P77
・［1394バスコントローラ］の表示がない (Windows Me/98 SEの場合) ・［1394バスホストコントローラ］の表示がない (Windows 2000の場合)	
［イメージングデバイス］の表示がない	
［SBP2］の表示がない (Windows Me/98 SEの場合のみ)	P78
［SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス］の表示がない (Windows Me/98 SEの場合のみ)	
［NEC Firewarden OHCI Complient……］の頭に［！］マークや［×］マークがある	
接続したストレージ機器が［デバイスマネージャ］の［ディスクドライブ］に表示されない	P80
・ストレージ機器の取り外しの際に、［取り外しができません］と表示される ・ストレージ機器の取り外しの際に、１分以上待っても、取り外し許可のメッセージが表示されない	
本製品添付のアプリケーション以外のアプリケーションが、正常に動作しない	
Windowsを終了後、「Windows を終了しています」の表示のまま止まってしまう (Windows 98 SEの場合のみ)	P81

正常に動作しない場合(内容)

インストール画面が表示されない　(Windows 98 SE の場合のみ)

原因　すでにインストール済みである

対処　本ボードのインストールが正常に終了していると、次回からインストール画面は表示されません。

原因　本ボードがPCIバススロットに正しく取り付けられていない

対処 1　確実に取り付けられていることを再度ご確認ください。

対処 2　本ボードを別のPCIバススロットに取り付け直してお試しください。

・[1394 バスコントローラ]の表示がない　(Windows Me/98 SE の場合)
・[1394 バスホストコントローラ]の表示がない　(Windows 2000 の場合)

原因　単に表示されていないだけの場合があります

対処　パソコンを再起動して、もう一度確認してみてください。

原因　本ボードがPCIバススロットに正しく取り付けられていない

対処 1　確実に取り付けられていることを再度ご確認ください。

対処 2　本ボードを別のPCIバススロットに取り付け直してお試しください。

[イメージングデバイス]の表示がない

原因　Windows 98をお使いの場合で、OSがWindows 98 SEではない

対処　P6の確認方法でOSがWindows 98 SEかをご確認ください。

原因　ケーブルが正常に挿入されていない

対処　DVケーブルを一度抜き挿ししてみてください。

原因　DV機器が動作していない

対処　DV機器の電源が入っているか確認してください。

原因　本ボードが正しく動作していない

対処　本ボードを別のPCIバススロットに挿入しなおしてみてください。

[SBP2]の表示がない （Windows Me/98 SE の場合のみ）

原因	ケーブルが正常に挿入されていない
対処	1394ケーブルを一度抜き挿ししてみてください。
原因	ストレージ機器が動作していない
対処	ストレージ機器の電源が入っているか確認してください。
原因	本ボードがPCIバススロットに正しく取り付けられていない
対処 1	確実に取り付けられていることを再度ご確認ください。
対処 2	本ボードを別のPCIバススロットに取り付け直してお試しください。

[SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス]の表示がない （Windows Me/98 SE の場合のみ）

原因	Windows 98 SEのアップデートが行われていない
対処	【Windows 98 SE自体をアップデートする】(P34)を参照してアップデートしてください。

[NEC Firewarden OHCI Compliant ・・・・・・]の頭に[！]マークや[×]マークがある

原因	本ボードと他のデバイスのリソースが競合もしくは共有(シェアリング)されている場合があります。その場合、正常に動作しない場合がありますので、以下の手順でリソース（主にIRQ）を変更してみてください。
対処 1	本ボードを取り付けるPCIバススロットを変更してお試しください。（取りつけるPCIバススロットを変更することでリソースが変更される場合があります。）
対処 2	使用していない機能やボードがあれば、取り外したり、無効にしてみてお試しください。（詳細はパソコンメーカーにご確認ください。）
対処 3	パソコン本体のBIOS設定（BIOSセットアップメニューなど）で、本ボードのリソース設定を変更してみてください。 （詳細は各パソコン本体の取扱説明書をご参照ください。） **※本ボードは、プラグアンドプレイ対応ボードのため、パソコン本体側ですべて自動的にリソース(IRQなど)を割り振られます。そのため、本ボード側でリソースを変更することはできません。**

（次ページへ）

対処 3

（前ページからのつづき）

参考（IRQの変更をするには？）

IRQの変更は、［デバイスマネージャ］上からは行えません。通常パソコン本体のBIOS設定から行います。
BIOSの設定方法は各メーカーより異なりますが、PCIバススロット毎に任意のIRQを割当てられるタイプや、特定のIRQを予め予約設定にするなどというものがあります。
詳細は各マザーボード／パソコン本体の取扱説明書もご参照ください。
現在パソコンが使用しているIRQの確認方法はP7を参照してください。

対処 4

以下の手順に従って、競合もしくは共有している製品側のリソースを変更します。
（本ボードのリソースは変更できません。）

1. 本ボードと競合・共有している製品がないかを確認する

Windows起動後、［デバイスマネージャ］でIRQ一覧画面を表示してください。（手順については、P7を参照してください。）
［NEC Firewarden OHCI Compliant ……］と競合または共有している製品とそのリソースを確認します。
あれば以下の手順で競合もしくは共有している製品側のリソースを変更してみてください。

2. 競合・共有している製品側のリソースを変更する

①.［デバイスマネージャ］画面で競合している製品を探し、ダブルクリックします。
②.［リソース］タブをクリックします。
③.［自動設定を使う］のチェックを外し、競合および共有しているリソースの種類をダブルクリックし、他の競合していない値に変更します。

> パソコンの環境によってはリソースの変更(主にIRQ)ができない場合、パソコン本体(マザーボード)のBIOS設定で、PCI及びISAバスのIRQ割り当てを変更する必要があります。
> 詳細はパソコンメーカーへお問い合わせ頂くか、マザーボードの取扱説明書をご覧ください。（PCIスロットを変更することで、IRQが変更される場合があります。）

（次ページへ）

対処 4

（前ページからのつづき）

④. ［OK］ボタンを数回押してコントロールパネルを終了すると、Windowsの終了確認画面が表示されるので、［はい］をクリックして、Windowsを終了します。（パソコンの電源を切ってください。）

⑤. リソースを変更した製品の設定をWindowsの設定と合わせるため、必要ならばディップスイッチまたはジャンパスイッチを変更してください。
（詳細は、設定を変更する製品の取扱説明書を参照してください。）

接続したストレージ機器が[デバイスマネージャ]の[ディスクドライブ]に表示されない

原因 正しく接続されていない

対処 一度パソコンの電源を切ってから、いったんストレージ機器を取り外します。再度、ストレージ機器の電源を入れ、ケーブルを本ボードに接続し直してみてください。

・ストレージ機器の取り外しの際に、「取り外しができません」と表示される
・ストレージ機器の取り外しの際に、1分以上待っても、取り外し許可のメッセージが表示されない

対処 1 使用中のアプリケーションをすべて終了した後に、もう一度取り外し手順を行ってみてください。

対処 2 Windowsを終了した後に、取り外してください。

本製品添付のアプリケーション以外のアプリケーションが、正常に動作しない

対処 まずは、本ボードが正常に認識されているかご確認ください。（【ステップ4 本ボードがパソコンに認識されているかを確認する】(P38)参照）
認識に問題がない場合は、本ボードの動作には問題ないと思われますので、ご使用のアプリケーションメーカーにて、サポートを受けてください。

Windows を終了後、「Windows を終了しています」の表示のまま止まってしまう　（Windows 98 SE の場合のみ）

Windowsの終了を行ったにもかかわらず、「Windowsを終了しています」の表示のままで止まってしまう場合があります。その際には、下記の対処をお試しください。

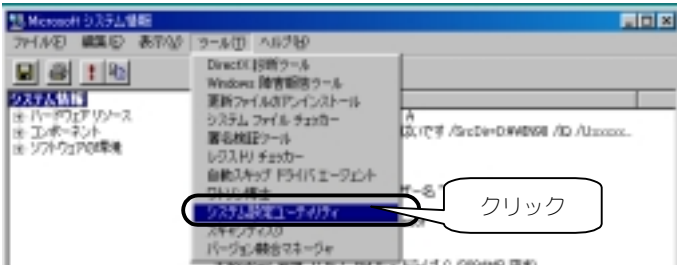
対処 1

本ボードが原因であるかどうかをテストします。
パソコンの電源を切って、本ボードを取り外し、現象が改善されるかどうかを確認してください。
現象が改善された場合は、以下の対処２をお試しください。
現象が改善されない場合は、パソコン本体メーカーにお問い合わせください。

対処 2

1. ［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］より［システム情報］を起動します。

2. ［ツール］メニューの［システム設定ユーティリティ］をクリックします。

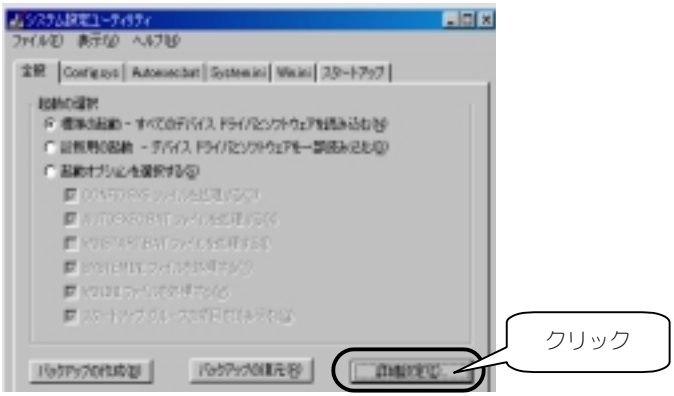


（次ページへつづく）

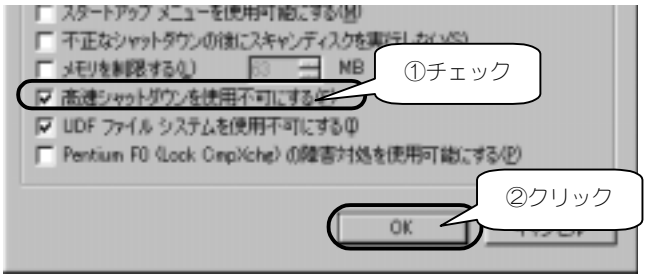
対処 2

（前ページからのつづき）

3. ［詳細設定］をクリックします。



4. ［高速シャットダウンを使用不可にする］にチェックを入れ、［OK］をクリックします。



以上の設定後、現象が改善されるかご確認ください。

対処 3

以上の対処１および対処２でも現象が改善されない場合、Microsoft社より「Windows 98 SE Shutdown Supplement」が提供されております。
詳しくは下記URLを参照してください。

http://www.microsoft.com/japan/win98/downloads/shutdown.htm

注意！

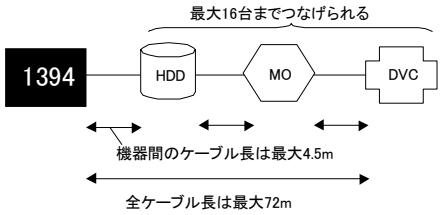
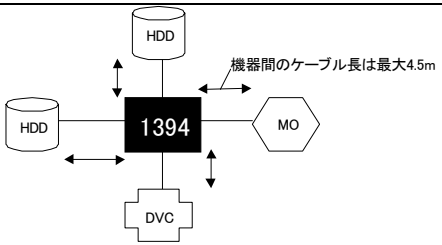
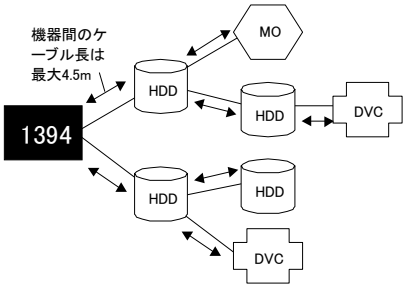
1) 上記URLに関する問い合わせの受け付けは弊社では行っておりません。使用上の注意をよくお読みになった上でご使用ください。
2) ホームページのアドレスは予告なしに変更または、中止になる場合があります。

本ボードに２台以上の機器を接続する場合

ここでは、本ボードに2台以上の機器をつなぐ場合の接続形態による制限事項等を説明します。

1394機器の接続方法

1394機器の接続方法には、デイジーチェーン接続、スター接続、ツリー接続があります。

接続方法	接続例
デイジーチェーン （機器同士を数珠状に接続する方法）	
スター （1394インターフェイスを中心にスター(星)状に接続する方法）	
ツリー （各機器から枝別れさせて接続する方法）	

1394 ：本ボードなどの1394インターフェイス

HDD ：ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ

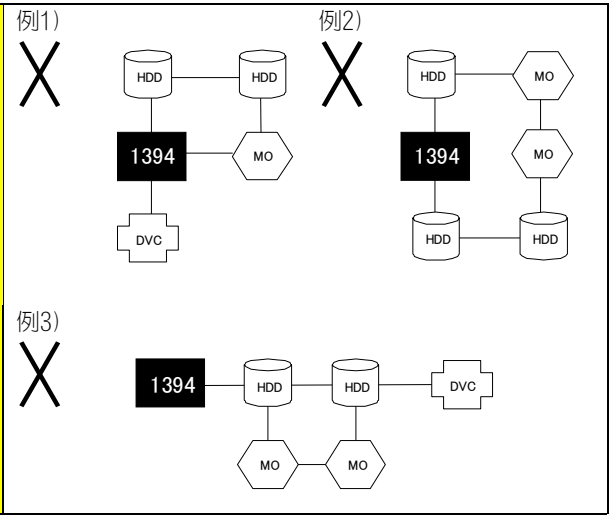
MO ：MOﾄﾞﾗｲﾌﾞ

DVC ：DVC（ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞﾃﾞｵｶﾒﾗ）

以下の①および②の様な接続で機器を使用することははできません。

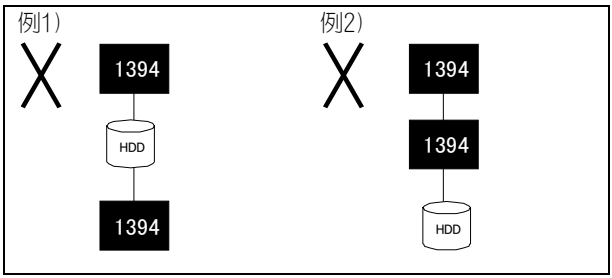
①ループ接続

ループ
（1394インターフェイスおよび機器間をループ状に接続する方法）



②ドライブ機器を複数のパソコンで共有して使用

下記のような接続の場合、基本的には先にハードディスクを認識したパソコンでしかハードディスクを使用することができない、もしくは両方のパソコンでアクセスができなくなる場合があります。



接続可能台数とケーブル使用可能本数

本ボードには、最大63台の1394機器を接続できます。
（デイジーチェーン接続のみでは16台まで）

注意

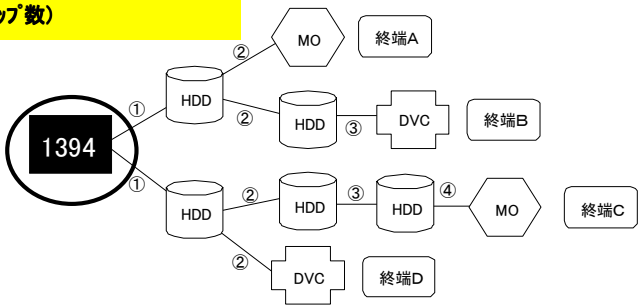
IEEE 1394の仕様としては1394機器を63台接続できますが、Windows側のドライブアサイン（ドライブ番号）の問題等で純粋にハードディスク等のドライブ機器を63台つなげてもすべてを使用することはできません。

また、1394インターフェイスから終端の機器間で使用できるケーブル数は最大16本（最大16ホップ）です。

ホップとは？

ある単位の1394機器から他の1394機器をながめた時、中間に何台の機器がつなげられているかをカウントする場合に、使用する単位です。
実際には、中間の台数だけでなく、最後の１台もカウントに含めます。

本ボードから見たケーブル数（ホップ数）

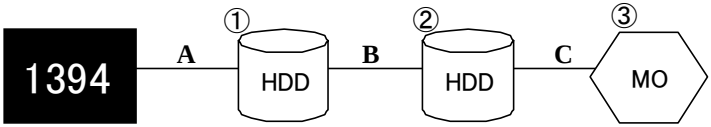


例えば、本ボードから
終端AのMOドライブまでのケーブル数（ホップ数）は2
終端BのDVCまでのケーブル数（ホップ数）は3
だと分かります。

複数の機器を接続中に取り外すには

パソコンに複数のIEEE 1394機器を接続している場合、取り外す際に注意が必要です。

下の図のように連続したIEEE 1394機器がある場合は、取り外す機器より後ろのIEEE 1394機器をすべて「停止」（取り外す前の作業）を行ってから、取り外してください。（詳細は、【ストレージ機器の正しい取り外し手順】(P71)を参照してください。）



例えば、①の機器のみを取り外す場合は、

1. **②と③を「停止」します。**
2. **①を「停止」します。**
3. **Aを取り外します。**
4. **BをIEEE 1394ポートに接続します。**

③を取り外す場合は、

1. **③を「停止」します。**
2. **Cを取り外します。**

用語解説

DV方式

HDデジタルVCR評議会により標準化されたビデオ映像をデジタルデータの形式で圧縮しテープに記録する規格。SD仕様と高品位規格のHD仕様があり、本ボードではSD仕様に対応している。
このDV規格は規格書の色から通称"Blue Book"と呼ばれることも多い。

DV-SD仕様の特徴
　映像データ形式はYUV=4:1:1(NTSC)または4:2:0(PAL)で圧縮率1/5
　音声データ形式は16bit/48KHz(2ch)と12bit/32KHz(4ch)の２種類

DV端子

主に民生用のDV機器に使われているデジタル映像の入出力端子で、4pin形状のコネクタが採用されている。

IEEE 1394（アイトリプルイー）

パソコン周辺機器の高速データ転送用の技術としてApple社で開発が始まり、IEEE(米国電気電子技術者協会)により正式規格として制定された規格。
その規格番号から一般的にIEEE 1394と呼ばれる。
SONYがデジタルビデオカメラのインターフェイスとして採用したことで家電業界を中心に普及が進んでいる。

i.LINK（アイ　リンク）

IEEE 1394-1995仕様およびその拡張仕様の名称としてSONYが提唱している呼称。

仕 様

インターフェイス	IEEE 1394-1995、1394a-2000、1394-OHCI準拠
IEEE 1394端子	外部 6ピン×2ポート 内部 6ピン×1ポート
転送方式	Asynchronous※／Isochronous※
転送速度	100/200/400Mbps
IEEE 1394機器への供給電源	12V/1.5A （18W）……3ポートの合計値 *供給電源は、パソコンの電源から供給するので、18Wが確保できない場合があります。
割り込み（IRQ）	Plug & Playシステムによる自動設定(1ケ使用)
パソコン側インターフェイス	・PCIバススロット（PCI Revision 2.1以降） ・Low Profile PCI
消費電流	+5.0V…最大0.3A、+12V…最大0.15A （ケーブルパワー供給時 +12V 最大1.5A）
動作環境（温度）	+5℃～+40℃
動作環境（湿度）	20%～80%
サイズ	119.9mm×64.4mm （スロットカバー、コネクタ含まず）
質量	約62g

※ Isochronous転送方式 ：125μ秒毎に一定量のパケットを送受信を行う方式。
映像データや音声データなどに向いています。
Asynchronous転送方式：Isochronous転送方式に比べて優先順位が劣ります。
ファイル転送などに使われます。

サポートセンターへのお問い合わせ

弊社サポートセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	**http://www.iodata.co.jp/support/** **「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを使用してE-mailをお送りください。**
@nifty	**ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)サポート会議室**

■郵便

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「1394-PCI2シリーズ」係　宛

■電話

電話番号	**金沢**	**076-260-3688**
	東京	**03-3254-1095**
受付時間	**9:30～19:00** **月～金曜日（祝祭日を除く）**	

■FAX

FAX番号	**金沢**	**076-260-3360**
	東京	**03-3254-9055**
宛先	**株式会社アイ・オー・データ機器** **サポートセンター「1394-PCI2シリーズ」係　宛**	

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください

サポートソフトのバージョンアップについて

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	http://www.iodata.co.jp/ →「ｻﾎﾟｰﾄ･ﾗｲﾌﾞﾗﾘ」
@nifty	ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ（SIODATA）のﾗｲﾌﾞﾗﾘ5（LIB 5）

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ・ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「1394-PCI2シリーズ」 サービス窓口 宛

電話番号 076-260-3663

受付時間 9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
●このサービスへのご質問は、弊社サポートセンターやサービス窓口ではお受けできません。

サービス品に関するお問い合わせ（1394-PCI2/DVCのみ）

サービス品については、以下へお問い合わせください。

サービス品に関するお問い合わせ

添付のサービス品『VideoStudio』および『COOL 3D SE』に関しては、
ユーリードシステムズ株式会社まで

●お問い合わせ先
ユーリードシステムズ株式会社ユーザーサポート係

電話番号	**03-5491-5662**
FAX番号	**03-5491-5663**
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	**http://www.ulead.co.jp**
E-mail	**support@ulead.co.jp**

受付時間　　平日 10:00〜12:00　13:00〜17:00

保証について

◎ 保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有料修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。（添付のハードウェアシリアルNo. シールを必ずお貼りください。）

・弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

◎ 保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。

・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認のうえ、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願いいたします。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

- 修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地　アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「1394-PCI2シリーズ」 修理係　　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせについて

受付窓口　「1394-PCI2シリーズ」 サービス窓口
電話番号　本社　076-260-3663
受付時間　9:30〜12:00　13:00〜17:00　月〜金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。

サービス品に関するお問い合わせ

添付のサービス品『VideoStudio』および『COOL 3D SE』に関しては、
ユーリードシステムズ株式会社まで

●お問い合わせ先

ユーリードシステムズ株式会社ユーザーサポート係

電話番号 **03-5491-5662**

FAX 番号 **03-5491-5663**

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ **http://www.ulead.co.jp**

E-mail **support@ulead.co.jp**

受付時間　　平日 10:00〜12:00　13:00〜17:00

アイ･オー・データ

定型文